

令和2年度ひたちなか市市民意識調査業務報告書

インターネットアンケート 調査報告書

令和2年 12月

ひたちなか市 企画部 企画調整課

目次

I	調査概要	1
II	調査結果概要	2
	1. 回答者について	2
	2. ひたちなか市への認知度について	2
	3. ひたちなか市への来訪経験について	2
	4. ひたちなか市への理解度について	2
	5. ひたちなか市への移住意向について	3
	6. その他の設問について	3
	7. 全体を通して	3
III	調査結果	4
	1. インターネットアンケート 調査結果	4
	(1) 回答者について	4
	(2) ひたちなか市への認知度について	10
	(3) ひたちなか市への訪問について	11
	(4) ひたちなか市への理解度について	17
	(5) ひたちなか市への移住意向について	18
	(6) その他の設問について	31
IV	参考資料	39
	1. ひたちなか市への定住、交流に関するインターネットアンケート調査票	39

I 調査概要

1. 調査の目的と趣旨

本調査は、東京圏在住者の本市の認知度、理解度、イメージや魅力等について調査し、定住、交流人口、関係人口の獲得に向けた現状や課題、打ち手の方策を探ることを目的として実施した。

2. 調査の対象

3年以内にひたちなか市に来訪経験のある東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）在住の18歳以上の男女1,000名

【回収サンプル内訳】

18歳～29歳	計200	
30歳～39歳	計200	
40歳～49歳	計200	
50歳～59歳	計200	
60歳～79歳	計200	合計1,000サンプル

3. 調査方法

調査会社を通じ、インターネットアンケートによりサンプルを収集

4. 調査期間

令和2年12月11日 ～ 令和2年12月21日

5. 回収結果

東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）在住の18歳以上の男女15,000名が回答し、調査対象に該当する1,000サンプルを回収した。

Ⅱ 調査結果概要

1. 回答者について

- 回答者の6割が男性、4割が女性となっている。
- 回答者の4割は東京都在住であり、埼玉県、千葉県、神奈川県はそれぞれ2割程度となっている。
- 回答者の職業は、「会社員（正社員）」が全体の半数を占め、家族構成は「配偶者と子」世帯が約3割で最も多く、夫婦世帯が2割程度となっている。

2. ひたちなか市への認知度について

- 東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）在住の18歳以上の男女15,000名の内、ひたちなか市を「詳しく知っている」と回答したのは全体の1割未満で4.3%となっている。
- 18歳～39歳の若い世代に「詳しく知っている」との回答が多いが、一方で「まったく知らない」との回答も「18歳～39歳」で多くなっている。
- ひたちなか市を知るきっかけとして、全体の約5割の方が「テレビ」と回答している。一方で実際に来訪している方では、「ひたちなか市の名所、レジャースポットなどのホームページ、SNS」が市を知るきっかけとして約4割の方が回答しており最多となっている。

3. ひたちなか市への来訪経験について

- ひたちなか市への来訪目的としては観光が最も多くなっており、来訪の際の満足度について、「とても満足」、「やや満足」の回答割合の合計は約7割となっている。
- 満足度の理由として、ネモフィラ等の海浜公園に関する意見が多くみられ、多くの来訪者が海浜公園を訪問し、それが満足度につながっている。魚等の海産物も満足度の要因となっている。
- ひたちなか市への再来訪について、約7割の回答者がまた訪れたいと回答している。また、グルメや特産品、観光スポット等があればもっと訪れるといった意見や、イベントを増やす、駐車場の整備等を求める意見もみられた。

4. ひたちなか市への理解度について

- 「東京からのアクセス」については約4割が「詳しく知っている」と回答している一方で、「人口」や「地価や住宅価格」、「買い物」等については、「詳しく知っている」の回答割合が2割を切っている。
- 「自然環境・レジャー」について、前回調査（R1）に比べ、「詳しく知っている」が減少し、「知らない」が増加している。

5. ひたちなか市への移住意向について

- 東京圏に在住する回答者の約 2 割が「移住や二地域居住等をしてみたい」、約 4 割が「現在は考えていないが将来的には検討してみたい」と回答しており、前回調査（R1）に比べ増加しており、特に若い世代で移住や二地域居住へのニーズが大きい。
- 移住、二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件としては、自然環境、買い物の利便性、地価や住宅価格を重視する意見が多くなっており、新型コロナウイルスの影響から郊外へのニーズが高くなっていることが考えられる。
- ひたちなか市を移住・定住先として検討していると 127 名が回答しており、住みやすいイメージ、豊かな自然環境、東京までのアクセス性が理由として挙がっていた。また、ひたちなか市を詳しく知っている人ほど、ひたちなか市への移住や二地域居住を検討している。
- ひたちなか市への移住、二地域居住に向けた必要な支援として、“住まい”、“仕事”、“子育て”に関する支援を求める意見が前回調査と同様に多かった。

6. その他の設問について

- 新型コロナウイルスの影響による移住・定住・二地域居住等への興味・関心について、約 5 割の方が「あまり変わらない」と回答しており最多となっている。
- 持続可能な開発目標（SDGs）について、回答者の約 8 割の方が認知しており、その内の 3 割程度の方が「持続可能な開発目標（SDGs）の取組を推進しているまちは住む（移住する）のにとっても魅力を感じる」と回答している。

7. 全体を通して

- ひたちなか市への認知のきっかけとしてテレビが最も効果を発揮しているが、実際の来訪につながっているのは、ホームページや SNS 或いは市内居住者からの情報提供がより効果的となっており、市民の地域への愛着の醸成など市内部の発信力の強化が必要と言える。
- 首都圏からの来訪者の多くが、海浜公園や海産物を中心とした資源によって高い満足度を持ち、再度訪れたいと感じている一方で、若年層の再来訪への意思が低くなっており、近年の新型コロナウイルス等の影響によるフェスなどイベントの未実施の影響等も考えられる。
- 移住や二地域居住等をしてみたいとの回答は前回調査（R1）に比べ増加しており、郊外への移住ニーズの増加や持続可能な開発目標（SDGs）への期待など、移住・二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件が多様化してきており、具体的なターゲット像の設定等が必要と言える。

Ⅲ 調査結果

1. インターネットアンケート 調査結果

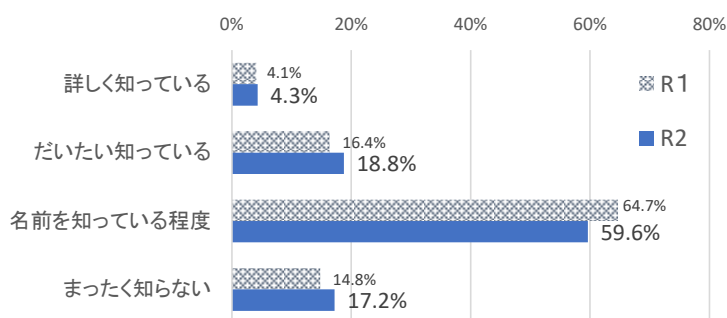
(1) 回答者について

【調査対象を抽出するためのSC（スクリーニング）設問の回答結果】

問O-1 あなたは茨城県ひたちなか市を知っていますか。[1つ選択]

・ひたちなか市への認知度について、「詳しく知っている」の割合は 4.3%となっており、「名前を知っている程度」が 59.6%で最も多かった。

総数	15,000	100.0%
詳しく知っている	651	4.3%
だいたい知っている	2,818	18.8%
名前を知っている程度	8,946	59.6%
まったく知らない	2,585	17.2%

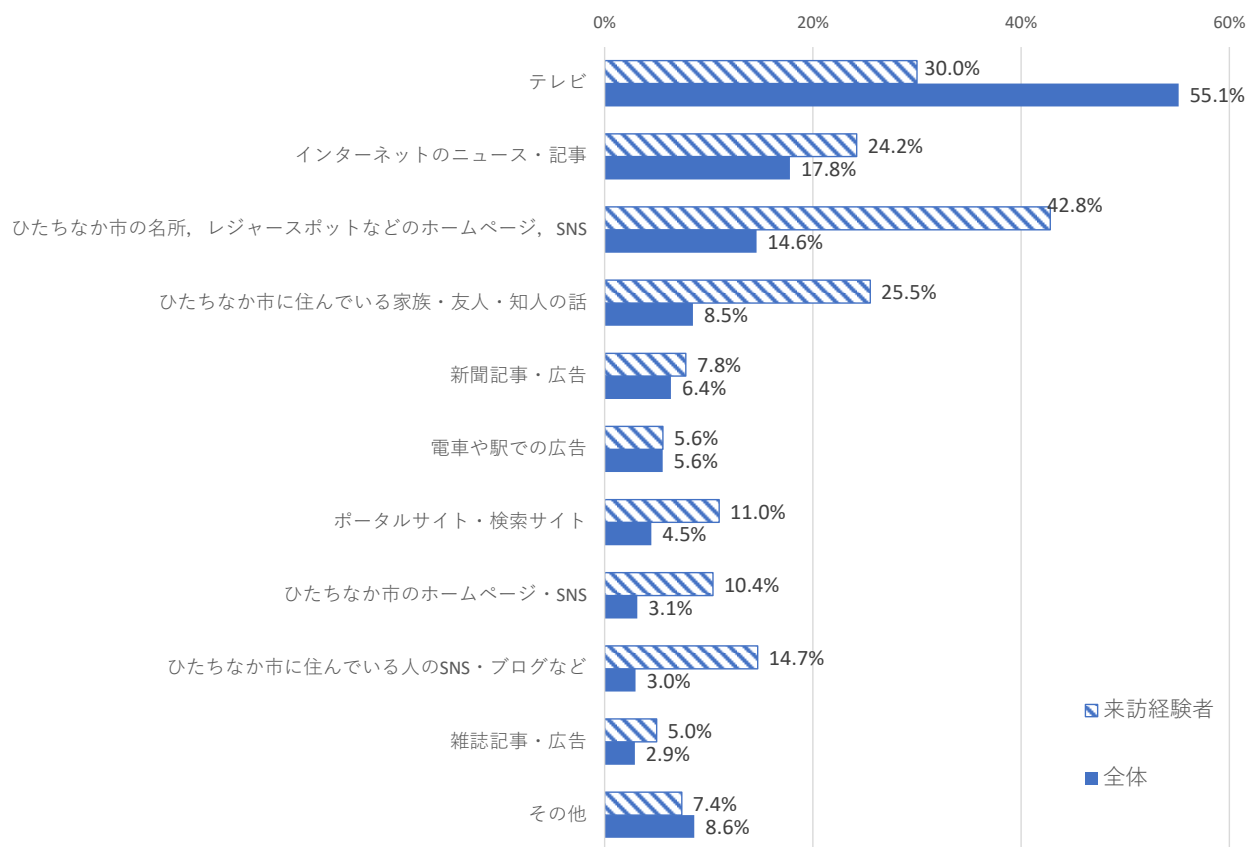


問O-1で「詳しく知っている」「だいたい知っている」「名前を知っている程度」と回答した方【総数 12,415】への設問

問O-2 知っている場合あなたは茨城県ひたちなか市を何で知りましたか。
[該当するものすべてに○]

- ・ひたちなか市を知るきっかけとして、「テレビ」を選択している方の割合は 55.1%で最も多く、「インターネットのニュース・記事」が 17.8%で続いている。
- ・「その他」の回答では、「イベント」、「仕事での出張」等の回答がみられた。

総数	15,000	100.0%
テレビ	6,843	55.1%
インターネットのニュース・記事	2,209	17.8%
ひたちなか市の名所、レジャースポットなどのホームページ、SNS	1,810	14.6%
ひたちなか市に住んでいる家族・友人・知人の話	1,052	8.5%
新聞記事・広告	790	6.4%
電車や駅での広告	690	5.6%
ポータルサイト・検索サイト	555	4.5%
ひたちなか市のホームページ・SNS	389	3.1%
ひたちなか市に住んでいる人のSNS・ブログなど	368	3.0%
雑誌記事・広告	359	2.9%
その他	1,069	8.6%



※来訪経験者 1,000 サンプルの回答

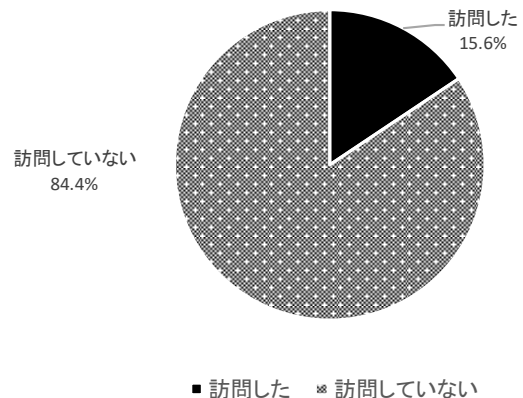
情報源	総数	割合 (%)
ひたちなか市の名所, レジャースポットなどのホームページ, SNS	428	42.8%
テレビ	300	30.0%
ひたちなか市に住んでいる家族・友人・知人の話	255	25.5%
インターネットのニュース・記事	242	24.2%
ひたちなか市に住んでいる人のSNS・ブログなど	147	14.7%
ポータルサイト・検索サイト	110	11.0%
ひたちなか市のホームページ・SNS	104	10.4%
新聞記事・広告	78	7.8%
その他	74	7.4%
電車や駅での広告	56	5.6%
雑誌記事・広告	50	5.0%
無回答	8	0.8%

- ・直近3年間に実際にひたちなか市を訪れている層の回答では「ひたちなか市の名所, レジャースポットなどのホームページ, SNS」が42.8%で最も回答されており、全体の回答に比べ「ひたちなか市に住んでいる家族・友人・知人の話」, 「ひたちなか市に住んでいる人のSNS・ブログなど」等の居住者からの情報で知った人が多い。

問O-3 あなたは直近3年間（2018年～2020年）にひたちなか市を訪問しましたか。
 [1つ選択]

・ひたちなか市を「訪問した」と回答したのは、1,735人で11.6%となっている。

総数	15,000	100.0%
訪問した	1,735	11.6%
訪問していない	13,265	88.4%

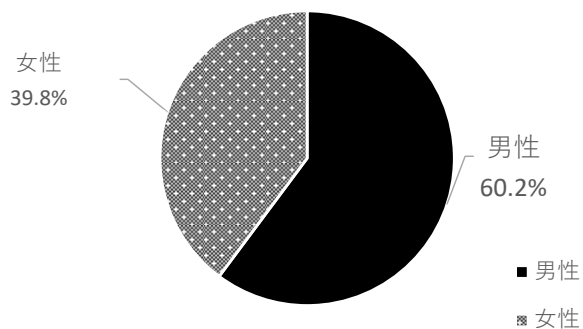


【調査対象者 1,000 サンプルの属性について】

1 性別

・回答者の60.2%は「男性」、39.8%は「女性」となっている。

総数	1000	100.0%
男性	602	60.2%
女性	398	39.8%



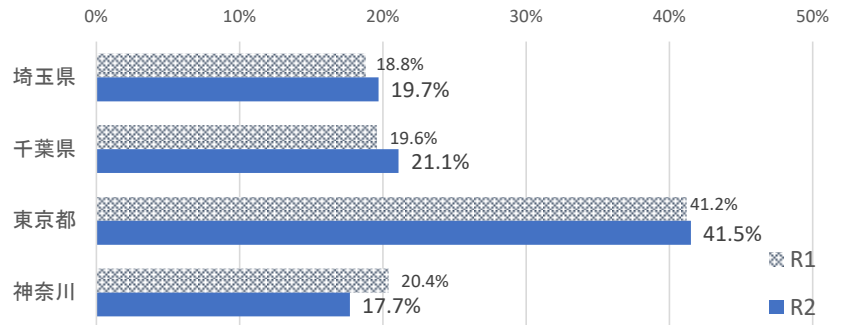
※年代別の男女の回答数について

年代	回収数	男性（割合）	女性（割合）
18歳～29歳	200	66(33.0%)	134(67.0%)
30歳～39歳	200	89(44.5%)	111(55.5%)
40歳～49歳	200	134(67.0%)	66(33.0%)
50歳～59歳	200	149(74.5%)	51(25.5%)
60歳～79歳	200	164(82.0%)	36(18.0%)

2 居住地

- 回答者の41.5%は「東京都」に居住している。

居住地	人数	割合
総数	1000	100.0%
埼玉県	197	19.7%
千葉県	211	21.1%
東京都	415	41.5%
神奈川	177	17.7%

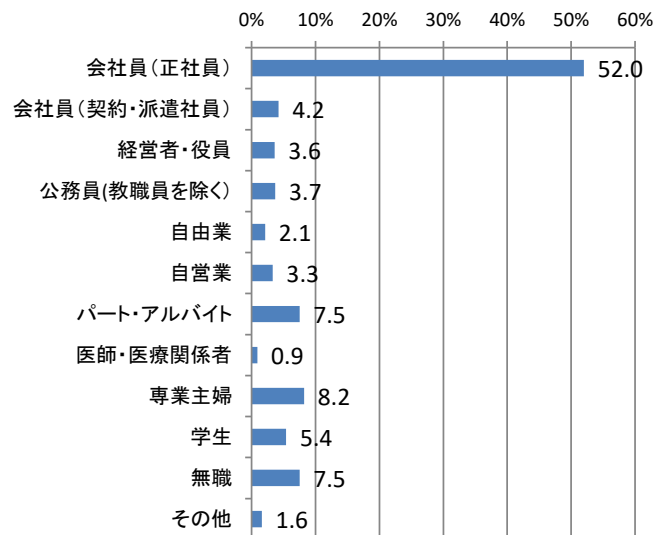


※前回調査 (R1) は今回と条件が異なり、500 サンプル、男女比 1 対 1 にて調査を実施

3 職業

- 回答者の職業は、「会社員（正社員）」が52.0%で最も多く、「専業主婦」が8.2%、「パート・アルバイト」、「無職」が7.5%が続いている。

職業	人数	割合
総数	1000	100.0%
会社員(正社員)	520	52.0%
会社員(契約・派遣社員)	42	4.2%
経営者・役員	36	3.6%
公務員(教職員を除く)	37	3.7%
自由業	21	2.1%
自営業	33	3.3%
パート・アルバイト	75	7.5%
医師・医療関係者	9	0.9%
専業主婦	82	8.2%
学生	54	5.4%
無職	75	7.5%
その他	16	1.6%
無回答		0.0%

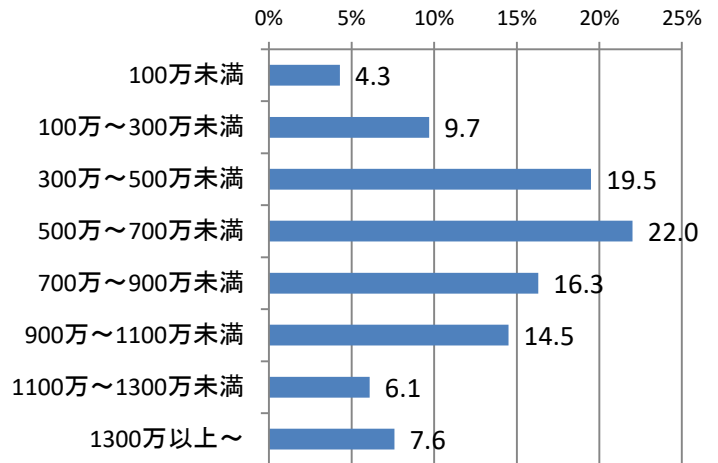


※前回調査 (R1) より項目が異なるため比較なし

4 世帯年収

- 回答者の世帯年収では、「500万～700万未満」が22.0%で最も多く、「300万～500万未満」が19.5%で続いている。

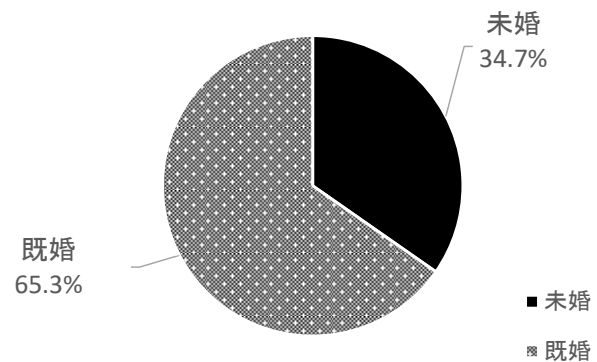
総数	1000	100.0%
100万未満	43	4.3%
100万～300万未満	97	9.7%
300万～500万未満	195	19.5%
500万～700万未満	220	22.0%
700万～900万未満	163	16.3%
900万～1100万未満	145	14.5%
1100万～1300万未満	61	6.1%
1300万以上～	76	7.6%



5 未婚既婚

- 回答者の34.7%が「未婚」、65.3%が「既婚」となっている。

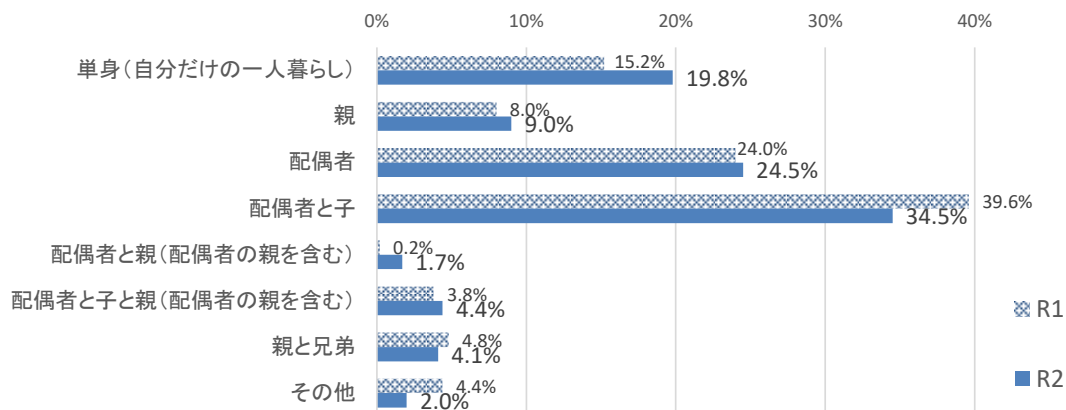
総数	1,000	100.0%
未婚	347	34.7%
既婚	653	65.3%



問1 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。[1つ選択]

- 「配偶者と子」が34.5%で最も多く、「配偶者」が24.5%が続いている。
- 『その他』の回答では、「自身+子供」、「恋人」等の回答がみられた。

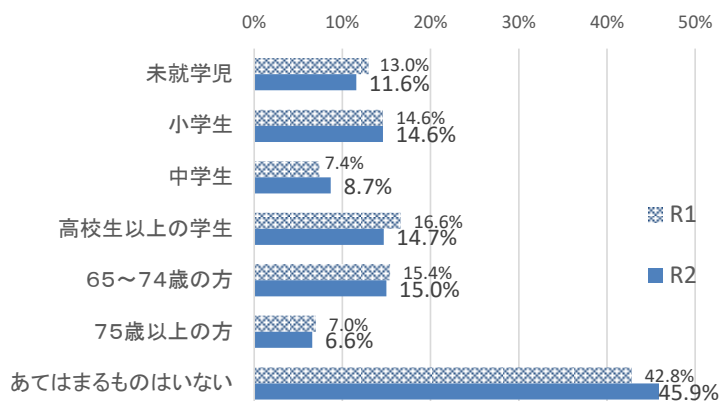
総数	1,000	100.0%
単身(自分だけの一人暮らし)	198	19.8%
親	90	9.0%
配偶者	245	24.5%
配偶者と子	345	34.5%
配偶者と親(配偶者の親を含む)	17	1.7%
配偶者と子と親(配偶者の親を含む)	44	4.4%
親と兄弟	41	4.1%
その他	20	2.0%



問2 同居家族に次の方はいますか。あてはまるものを全てお答えください。[複数選択]

- 「65～74歳の方」の回答が15.0%で最も多く、「高校生以上の学生」が14.7%で2番目に多くなっている。

総数	1,000	100.0%
未就学児	116	11.6%
小学生	146	14.6%
中学生	87	8.7%
高校生以上の学生	147	14.7%
65～74歳の方	150	15.0%
75歳以上の方	66	6.6%
あてはまるものはない	459	45.9%



(2) ひたちなか市への認知度について

- ひたちなか市への認知度について、全体の回答 15,000 を年齢別にみると「30 歳～39 歳」で「詳しく知っている」の割合が 6.7%と最も高い。一方で「60 歳～79 歳」が 2.2%で最も低くなっている。一方で「18 歳～29 歳」の 32.8%が「まったく知らない」と回答している。
- また、居住する都道府県別にみると、「千葉県」が「詳しく知っている」の回答割合が 4.9%で最も高く、「神奈川県」が最も低い 3.7%となっており。「まったく知らない」の回答も 19.5%と最多となっている。

【年齢別の認知度について】

%	詳しく知っている	だいたい知っている	名前を知っている程度	まったく知らない
総数	4.3%	18.8%	59.6%	17.2%
18歳～29歳	6.5%	18.1%	42.5%	32.8%
30歳～39歳	6.7%	17.8%	50.9%	24.6%
40歳～49歳	4.7%	16.9%	61.3%	17.0%
50歳～59歳	3.1%	18.3%	66.4%	12.2%
60歳～79歳	2.2%	22.8%	65.8%	9.2%

【居住地別の認知度について】

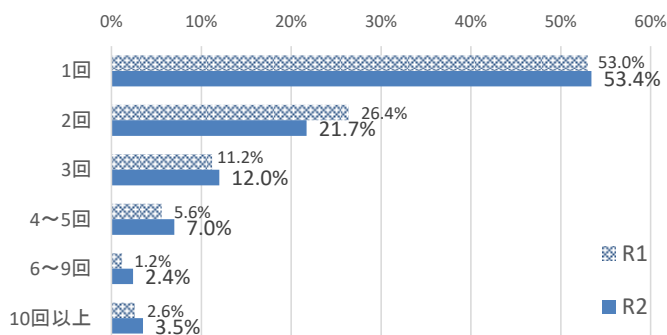
%	詳しく知っている	だいたい知っている	名前を知っている程度	まったく知らない
総数	4.3%	18.8%	59.6%	17.2%
埼玉県	4.4%	20.5%	60.3%	14.9%
千葉県	4.9%	22.9%	57.9%	14.4%
東京都	4.5%	18.9%	58.7%	17.9%
神奈川県	3.7%	15.1%	61.8%	19.5%

(3) ひたちなか市への訪問について

問3 あなたは直近3年間（2018年～2020年）で何度ひたちなか市を訪問しましたか。
[1つ選択]

- 直近3年間でのひたちなか市への訪問回数について、「1回」が53.4%で最も多く、「2回」が21.7%で次点となっている。「10回以上」は3.5%となっている。

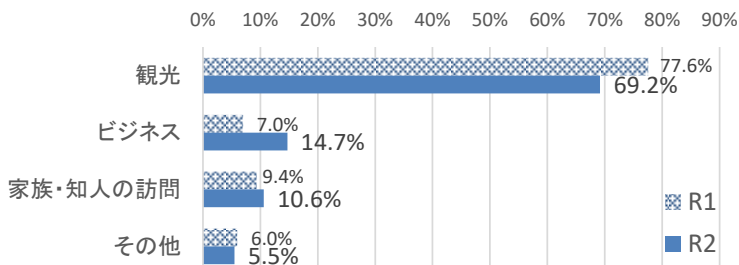
総数	1,000	100.0%
1回	534	53.4%
2回	217	21.7%
3回	120	12.0%
4～5回	70	7.0%
6～9回	24	2.4%
10回以上	35	3.5%



問4 直近3年間（2018年～2020年）でひたちなか市を訪問した目的をお答えください。（複数回訪問された方は、最も多い目的をお答えください。[1つ選択]

- ひたちなか市への訪問目的では、「観光」が69.2%で最も多い。
- 『その他』の回答では、「フェス」、「買い物」、「墓参り」等の回答がみられる。

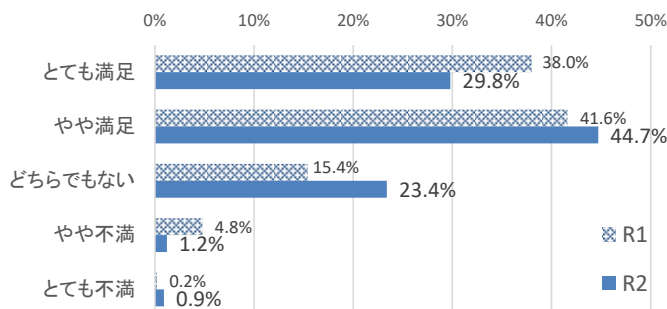
総数	1,000	100.0%
観光	692	69.2%
ビジネス	147	14.7%
家族・知人の訪問	106	10.6%
その他	55	5.5%



問5 直近のひたちなか市を訪問した際の満足度をお答えください。[1つ選択]

- ひたちなか市への訪問の際の満足度は「やや満足」が44.7%で最も高い。「とても満足」は29.8%で、「やや満足」、「とても満足」の合計は74.5%となっている。

総数	1,000	100.0%
とても満足	298	29.8%
やや満足	447	44.7%
どちらでもない	234	23.4%
やや不満	12	1.2%
とても不満	9	0.9%



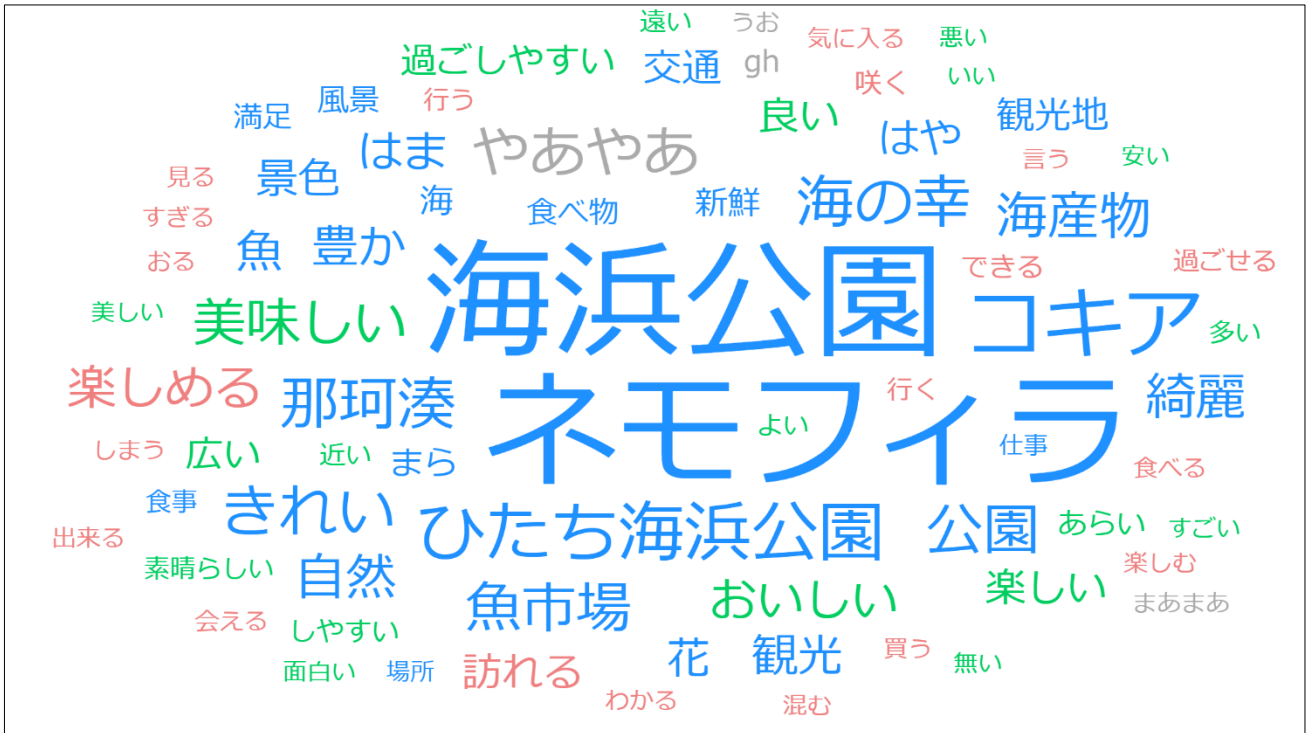
問6 問5で回答した満足度の理由をお答えください。[自由記入]

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)により分析

■ワードクラウド※1

・「海浜公園」、「ネモフィラ」、「コキア」等ひたち海浜公園に関する単語が特徴的に表れている。



■単語出現度

・「海浜公園」、「美味しい」、「綺麗な」、「ネモフィラ」の出現回数が多い。

(一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語 (※良い, 行く, できる等))

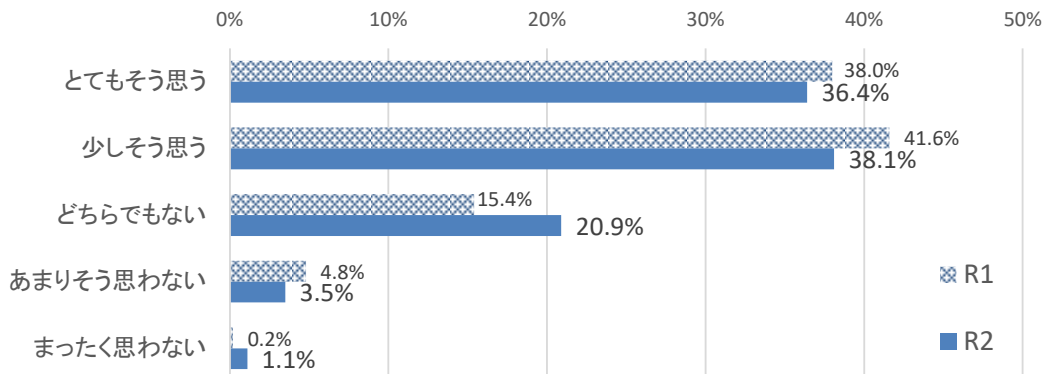
単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
綺麗な	名詞	74	花	名詞	32
ネモフィラ	名詞	44	魚	名詞	25
海浜公園	名詞	39	観光	名詞	24
公園	名詞	35	海	名詞	23
自然	名詞	35	豊か	名詞	19

※1ワードクラウド…一般的な文書ではあまり出現しないが、調査対象の文書だけによく出現する単語は重みづけを行い、出現が特徴的な単語を数値化し、その値に応じた大きさと色で表示。仕組みで重要度を加味して取り入れている。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

問7 あなたはまたひたちなか市を訪れたいですか。[1つ選択]

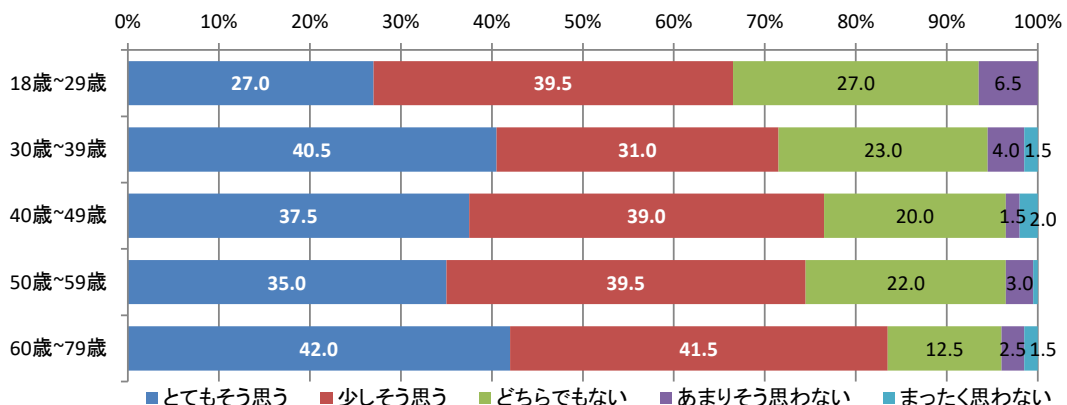
- ひたちなか市への再来訪について、「少しそう思う」が38.1%で最も多く、「とてもそう思う」が36.4%が続いている。「あまりそう思わない」は3.5%、「まったく思わない」は1.1%となっている。
- 年齢別の回答では、「60歳～79歳」で「とてもそう思う」の回答割合が最も大きく42.0%となっている。

総数	1,000	100.0%
とてもそう思う	364	36.4%
少しそう思う	381	38.1%
どちらでもない	209	20.9%
あまりそう思わない	35	3.5%
まったく思わない	11	1.1%



【年齢別の再来訪意思について】

%	とてもそう思う	少しそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	まったく思わない
総数	36.4%	38.1%	20.9%	3.5%	1.1%
18歳～29歳	27.0%	39.5%	27.0%	6.5%	0.0%
30歳～39歳	40.5%	31.0%	23.0%	4.0%	1.5%
40歳～49歳	37.5%	39.0%	20.0%	1.5%	2.0%
50歳～59歳	35.0%	39.5%	22.0%	3.0%	0.5%
60歳～79歳	42.0%	41.5%	12.5%	2.5%	1.5%



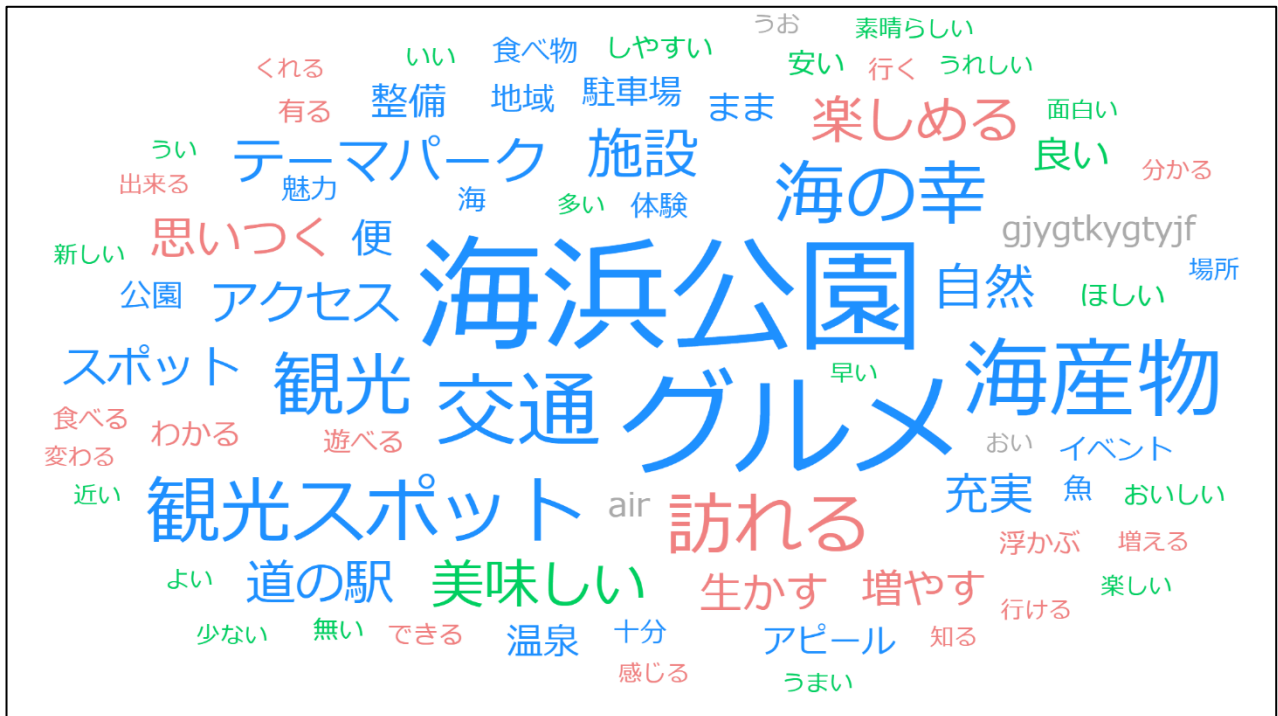
問8 どのような取組や地域資源があればひたちなか市をもっと訪れたいと思いますか。
 [自由記入]

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)により分析

■ワードクラウド

・「海浜公園」、「グルメ」、「海産物」等が特徴的に表れている。



■単語出現度

・「観光」、「グルメ」、「自然」等の出現回数が多い。

(一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位10単語(※行く、わかる、いい等))

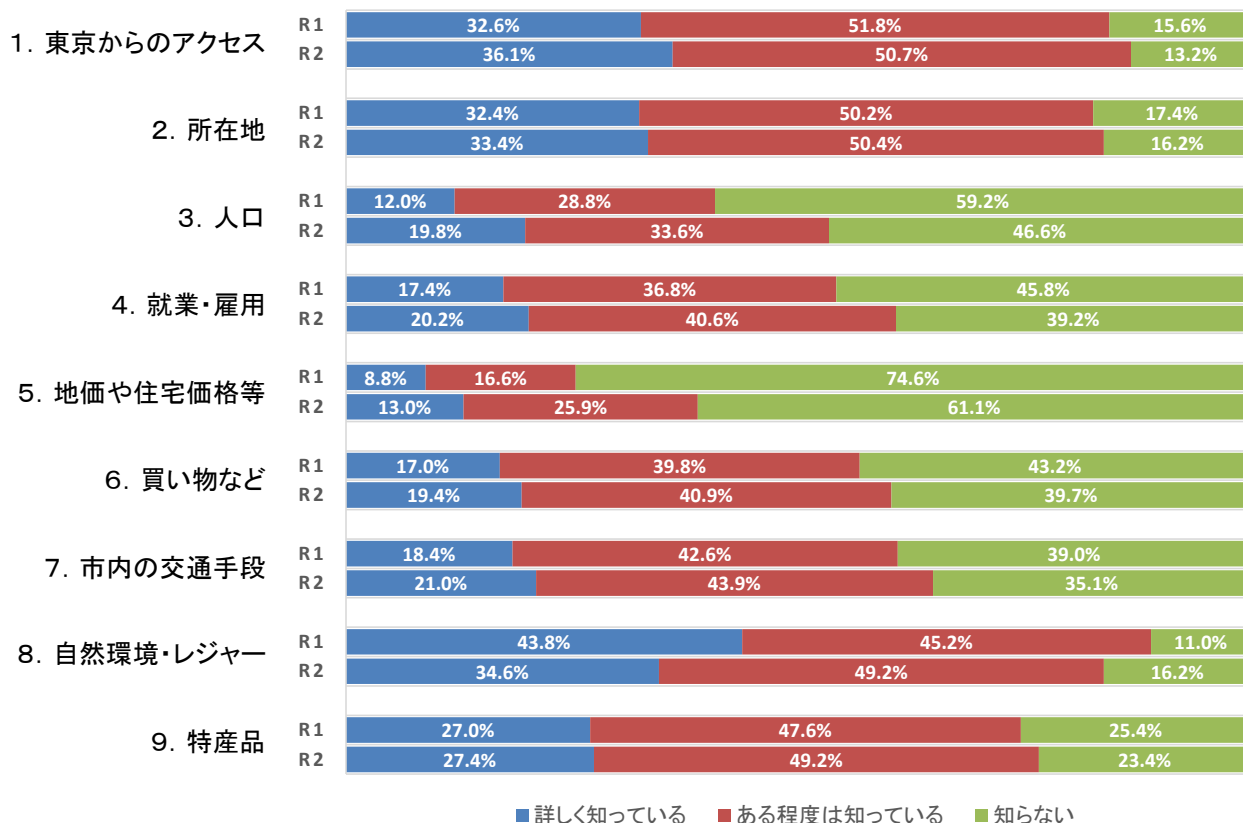
単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
観光	名詞	30	施設	名詞	18
グルメ	名詞	28	充実	名詞	18
自然	名詞	25	温泉	名詞	18
イベント	名詞	24	海浜公園	名詞	16
交通	名詞	21	海産物	名詞	12

(4) ひたちなか市への理解度について

問9 あなたはひたちなか市について、どの程度知っていますか。[各問1つ選択]

・ひたちなか市への理解度について、「詳しく知っている」の割合が最も大きいのは「1.東京からのアクセス」で36.1%。「知らない」との回答が最も多いのは「5.地価や住宅価格等」で61.1%となっている。

項目	回答数			回答割合			回答割合比較(R2-R1)		
	詳しく知っている	ある程度は知っている	知らない	詳しく知っている	ある程度は知っている	知らない	詳しく知っている	ある程度は知っている	知らない
1. 東京からのアクセス ・東京まで1時間半程度でアクセスできる。 (電車(東京駅～勝田駅)90分, 高速道路110分)	361	507	132	36.1%	50.7%	13.2%	3.5%	-1.1%	-2.4%
2. 所在地 ・茨城県の中央に位置し、県庁所在地である水戸市まで、電車で1駅(6分)、自動車は20分程度でアクセスでき	334	504	162	33.4%	50.4%	16.2%	1.0%	0.2%	-1.2%
3. 人口 ・水戸市、つくば市、日立市に次いで、茨城県で4番目の人口規模である。	198	336	466	19.8%	33.6%	46.6%	7.8%	4.8%	-12.6%
4. 就業・雇用 ・日立製作所の企業城下町として発展した歴史があり、市内には日立製作所と関連企業における雇用が多い。	202	406	392	20.2%	40.6%	39.2%	2.8%	3.8%	-6.6%
5. 地価や住宅価格等 ・基準地価は、38,000円/㎡程度で練馬区の1/12程度である。	130	259	611	13.0%	25.9%	61.1%	4.2%	9.3%	-13.5%
6. 買い物など ・大型ショッピングモールや映画館等が立地している。	194	409	397	19.4%	40.9%	39.7%	2.4%	1.1%	-3.5%
7. 市内の交通手段 ・ひたちなか海浜鉄道湊線が市内を運行している。自家用車での移動が多い。	210	439	351	21.0%	43.9%	35.1%	2.6%	1.3%	-3.9%
8. 自然環境・レジャー ・ひたち海浜公園や海水浴場、おさかな市場など自然環境やレジャーが充実している。	346	492	162	34.6%	49.2%	16.2%	-9.2%	4.0%	5.2%
9. 特産品 ・干しいもの生産が盛んであり、港町ならではの新鮮な海の幸も豊富に揃う。	274	492	234	27.4%	49.2%	23.4%	0.4%	1.6%	-2.0%

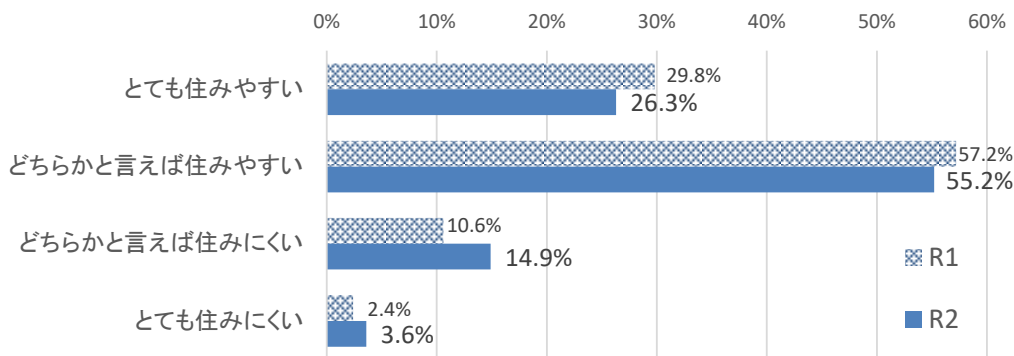


(5) ひたちなか市への移住意向について

問 10 あなたは、現在お住まいの地域の住み心地をどのように感じていますか。[1つ選択]

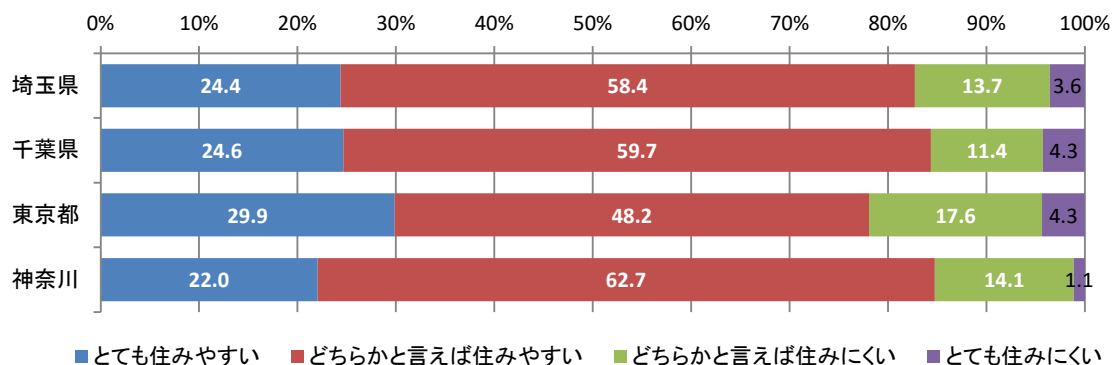
- ・「どちらかと言えば住みやすい」が55.2%、「とても住みやすい」が26.3%で続いている。「どちらかと言えば住みにくい」、「とても住みにくい」の合計は18.5%となっており、前回調査(R1)に比べ5.5%増加している。
- ・年代別の回答では、「とても住みやすい」との回答の割合は「18歳～29歳」、「40歳～49歳」、「30歳～39歳」の世代で高くなっている。居住地別では「東京都」居住者で「とても住みやすい」が29.9%と住み心地の満足度が高くなっている。

総数	1,000	100.0%
とても住みやすい	263	26.3%
どちらかと言えば住みやすい	552	55.2%
どちらかと言えば住みにくい	149	14.9%
とても住みにくい	36	3.6%



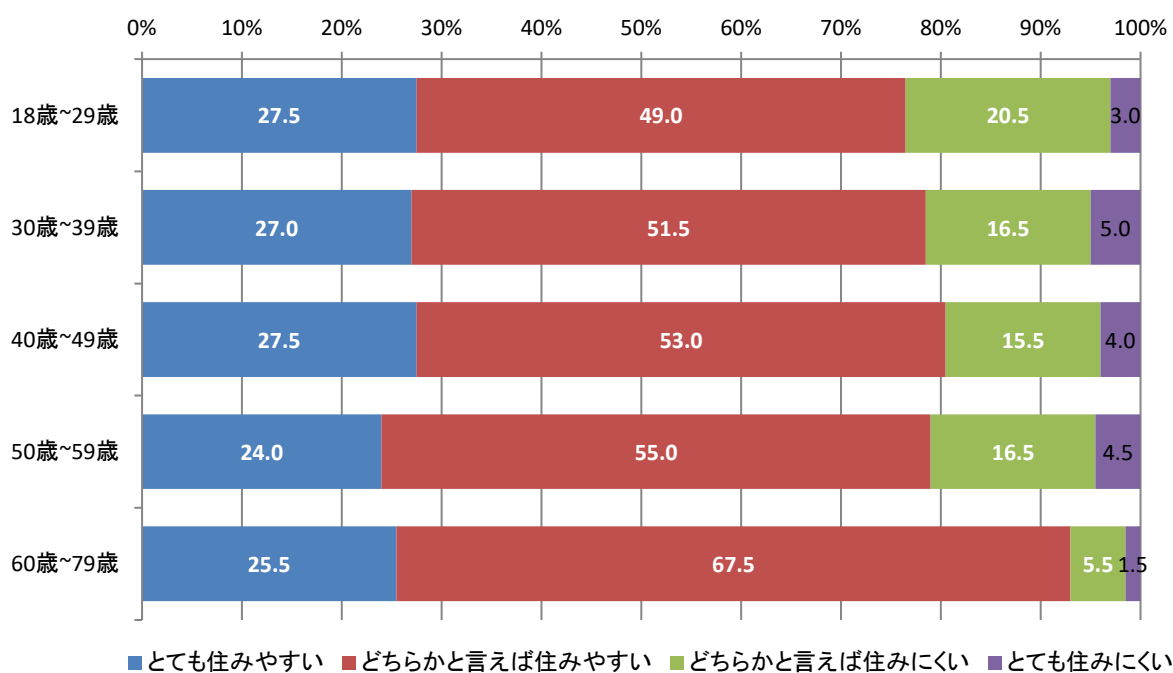
【居住地別の住み心地について】

%	とても住みやすい	どちらかと言えば住みやすい	どちらかと言えば住みにくい	とても住みにくい
総数	26.3%	55.2%	14.9%	3.6%
埼玉県	24.4%	58.4%	13.7%	3.6%
千葉県	24.6%	59.7%	11.4%	4.3%
東京都	29.9%	48.2%	17.6%	4.3%
神奈川	22.0%	62.7%	14.1%	1.1%



【年齢別の住み心地について】

%	とても住みやすい	どちらかと言えば住みやすい	どちらかと言えば住みにくい	とても住みにくい
総数	26.3%	55.2%	14.9%	3.6%
18歳~29歳	27.5%	49.0%	20.5%	3.0%
30歳~39歳	27.0%	51.5%	16.5%	5.0%
40歳~49歳	27.5%	53.0%	15.5%	4.0%
50歳~59歳	24.0%	55.0%	16.5%	4.5%
60歳~79歳	25.5%	67.5%	5.5%	1.5%

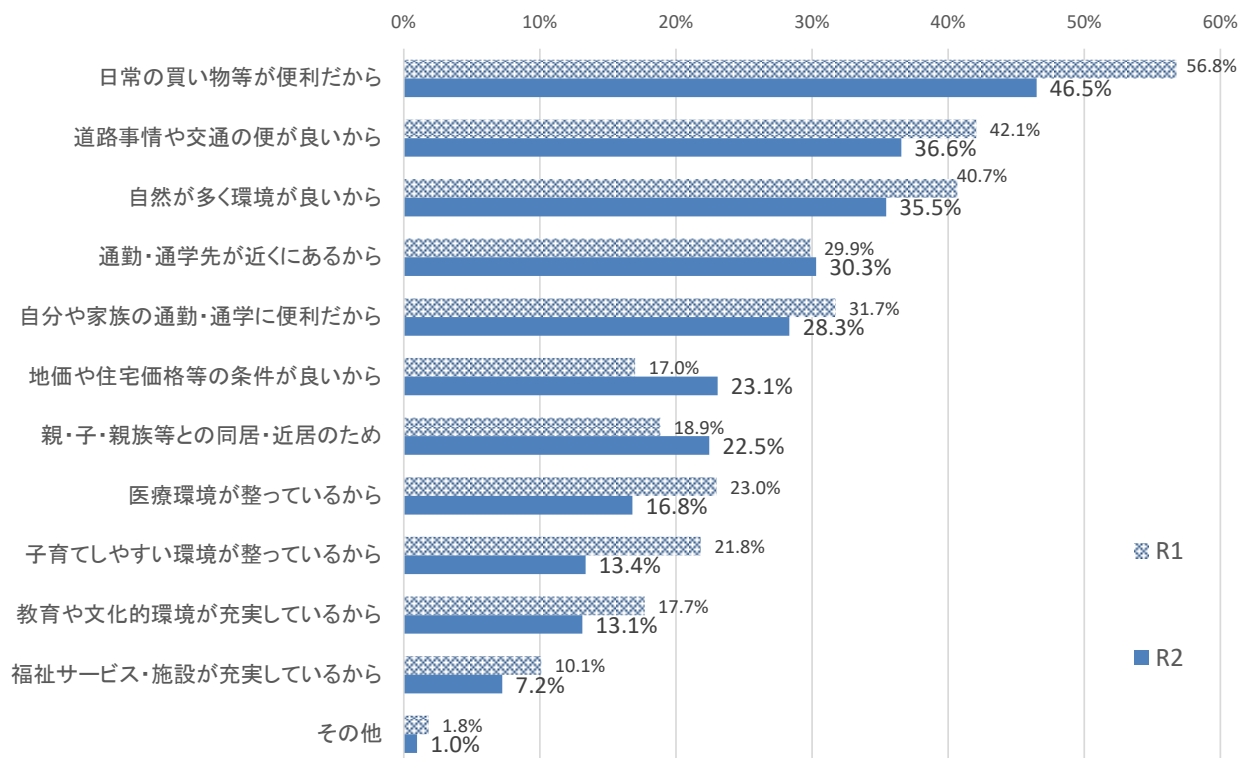


【問 10 で「とても住みやすい」、「どちらかと言えば住みやすい」を選択された方】

問 11-1 問 10 で「1. とても住みやすい」、「2. どちらかと言えば住みやすい」を選択された理由をお答えください。[あてはまるものすべてに○]

- 「日常の買い物等が便利だから」が最も多く選択されており 46.5%、「道路事情や交通の便が良いから」が 36.6%、「自然が多く環境が良いから」が 35.5%で続いている。
- 『その他』の回答では、「知り合いが多い」、「東京に近い」等の回答がみられた。

理由	人数	割合
総数	815	100.0%
日常の買い物等が便利だから	379	46.5%
道路事情や交通の便が良いから	298	36.6%
自然が多く環境が良いから	289	35.5%
通勤・通学先が近くにあるから	247	30.3%
自分や家族の通勤・通学に便利だから	231	28.3%
地価や住宅価格等の条件が良いから	188	23.1%
親・子・親族等との同居・近居のため	183	22.5%
医療環境が整っているから	137	16.8%
子育てしやすい環境が整っているから	109	13.4%
教育や文化的環境が充実しているから	107	13.1%
福祉サービス・施設が充実しているから	59	7.2%
その他	8	1.0%

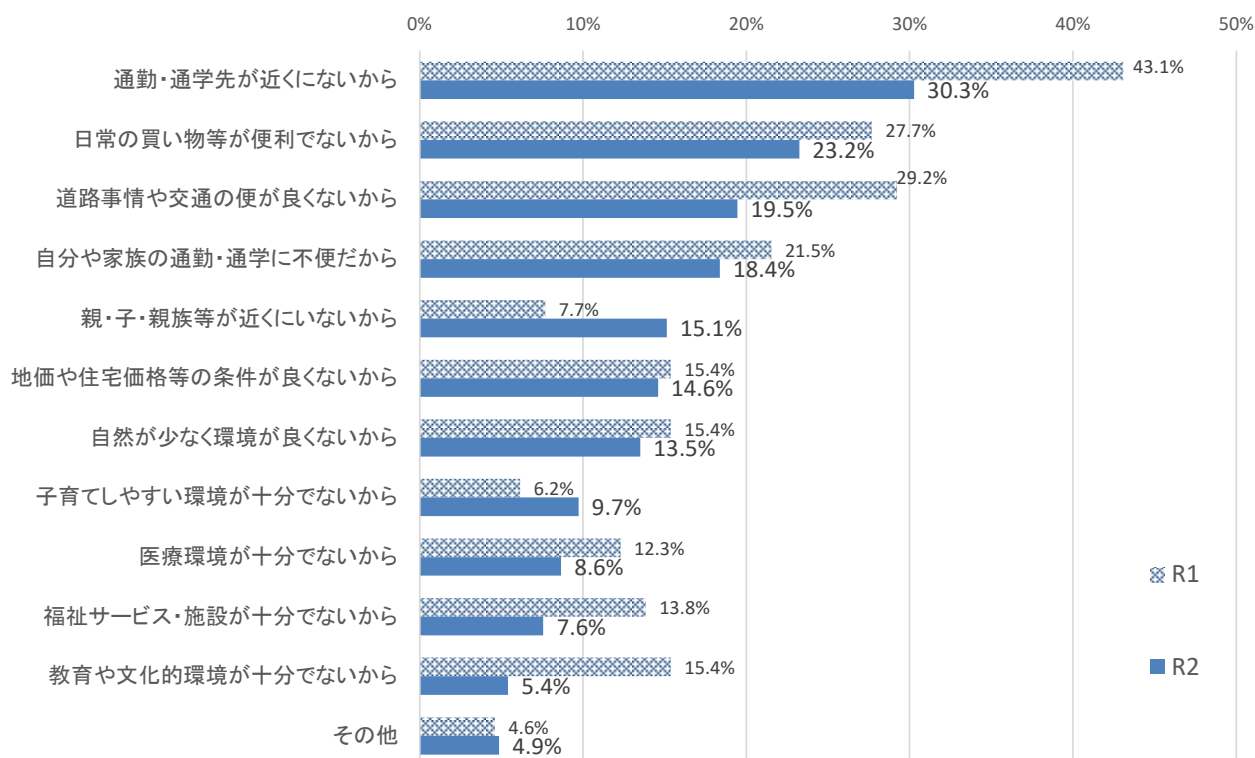


【問 10 で「どちらかと言えば住みにくい」、「とても住みにくい」を選択された方】

問 11-2 問 10 で「3. どちらかと言えば住みにくい」、「4. とても住みにくい」を選択された理由をお答えください。【あてはまるものすべてに○】

- 「通勤・通学先が近くにないから」が最も多く選択されており 30.3%、「自分や家族の通勤・通学に不便だから」が 23.2%で続いている。
- 親や親族等が近くにいないことや子育て環境への不満等の意見が増加している。
- 『その他』の回答では、「治安が悪い」、「外国人が多い」等の回答がみられた。

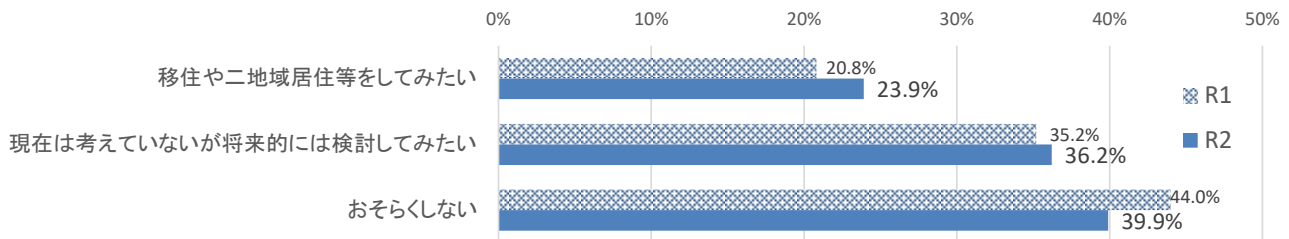
理由	人数	割合
総数	185	100.0%
通勤・通学先が近くにないから	56	30.3%
自分や家族の通勤・通学に不便だから	43	23.2%
親・子・親族等が近くにいないから	36	19.5%
地価や住宅価格等の条件が良くないから	34	18.4%
日常の買い物等が便利でないから	28	15.1%
道路事情や交通の便が良くないから	27	14.6%
自然が少なく環境が良くないから	25	13.5%
教育や文化的環境が十分でないから	18	9.7%
子育てしやすい環境が十分でないから	16	8.6%
医療環境が十分でないから	14	7.6%
福祉サービス・施設が十分でないから	10	5.4%
その他	9	4.9%



問 12 今後、移住や二地域居住等をしてみたいと思いますか。[1つ選択]

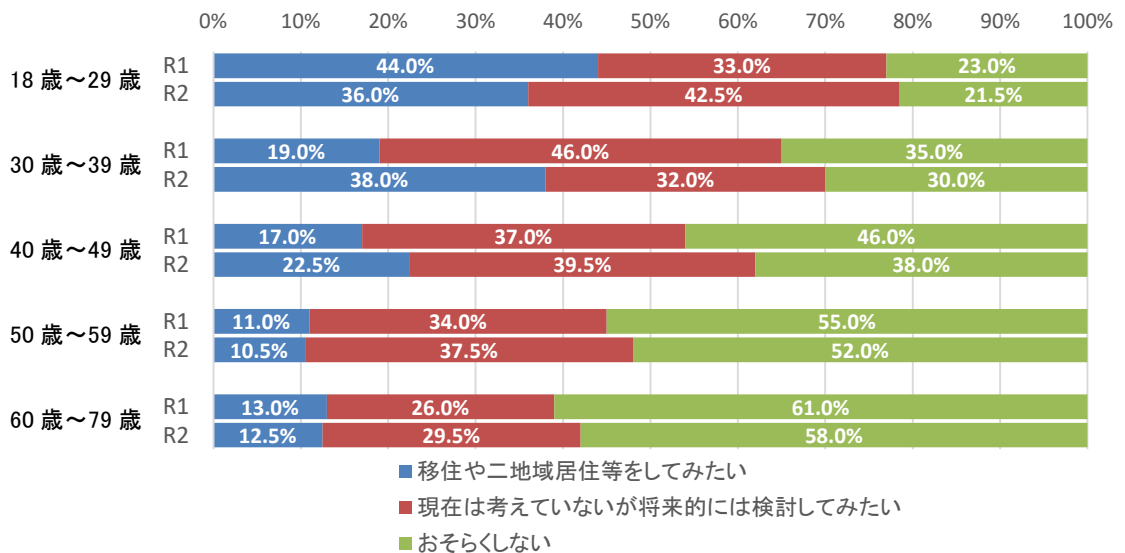
- 今後の移住や二地域居住への意向について、「移住や二地域居住等をしてみたい」との回答は 23.9%、「現在は考えていないが将来的には検討してみたい」が 36.2%となっている。
- 年齢別の回答では、「30 歳～39 歳」で「移住や二地域居住等をしてみたい」との回答が 38.0%で最も高くなっている。居住地別の回答では、「東京都」で「移住や二地域居住等をしてみたい」が 27.0%で最も高い。

総数	1,000	100.0%
移住や二地域居住等をしてみたい	239	23.9%
現在は考えていないが将来的には検討してみたい	362	36.2%
おそろくしない	399	39.9%



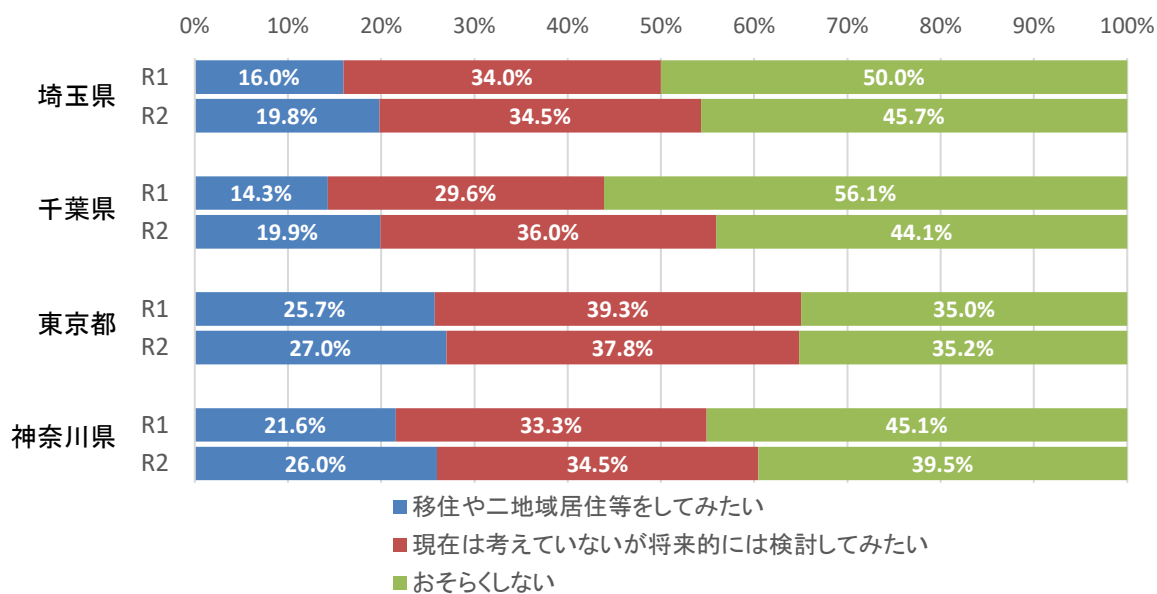
【年齢別の移住や二地域居住について】

%	移住や二地域居住等をして みたい	現在は考えて いないが将来的 には検討し てみたい	おそろくしない
総数	23.9%	36.2%	39.9%
18歳～29歳	36.0%	42.5%	21.5%
30歳～39歳	38.0%	32.0%	30.0%
40歳～49歳	22.5%	39.5%	38.0%
50歳～59歳	10.5%	37.5%	52.0%
60歳～79歳	12.5%	29.5%	58.0%



【居住地別の移住や二地域居住について】

%	移住や二地域居住等をしてみたい	現在は考えていないが将来的には検討してみたい	おそらくしない
総数	23.9%	36.2%	39.9%
埼玉県	19.8%	34.5%	45.7%
千葉県	19.9%	36.0%	44.1%
東京都	27.0%	37.8%	35.2%
神奈川	26.0%	34.5%	39.5%

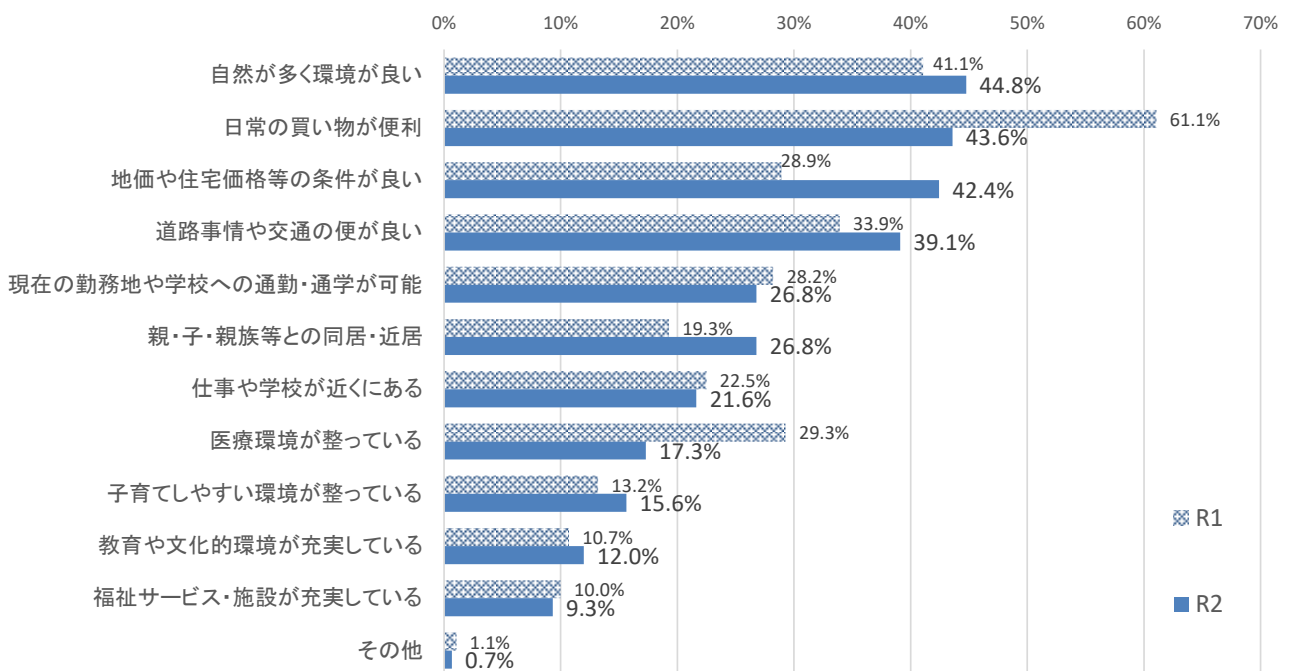


【問 12 で「移住や二地域居住等をしてみたい」、「現在は考えていないが将来的には検討してみたい」を選択された方】

問 13 あなたが今後移住・二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件について 3 つお答えください。[3つ選択]

- ・移住・二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件について、「自然が多く環境が良い」が 44.8%で最も選択されており、「日常の買い物が便利」が 43.6%、「地価や住宅価格等の条件が良い」が 42.4%で続いている。
- ・前回調査 (R1) に比べ、自然環境や地価、交通の便や子育て環境を重視する意見が増加している。
- ・『その他』の回答では、「テレワーク」、「東京とは異なる雰囲気」等の意見が挙がっている。

条件	総数	割合
自然が多く環境が良い	269	44.8%
日常の買い物が便利	262	43.6%
地価や住宅価格等の条件が良い	255	42.4%
道路事情や交通の便が良い	235	39.1%
現在の勤務地や学校への通勤・通学が可能	161	26.8%
親・子・親族等との同居・近居	161	26.8%
仕事や学校が近くにある	130	21.6%
医療環境が整っている	104	17.3%
子育てしやすい環境が整っている	94	15.6%
教育や文化的環境が充実している	72	12.0%
福祉サービス・施設が充実している	56	9.3%
その他	4	0.7%

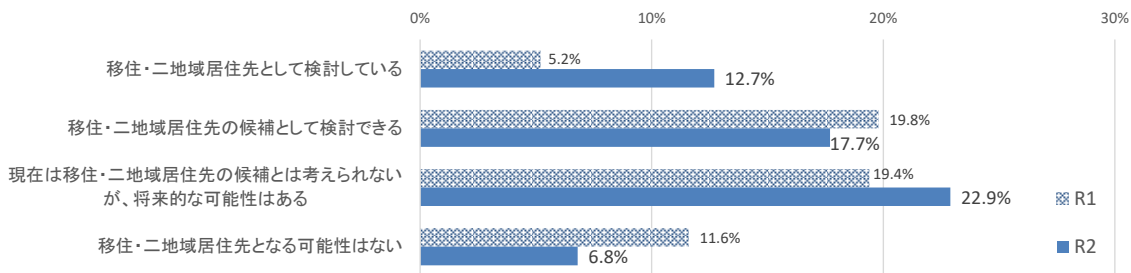


【問 12 で「移住や二地域居住等をしてみたい」、「現在は考えていないが将来的には検討してみたい」を選択された方】

問 14 ひたちなか市への将来的な移住や二地域居住についてあなたのお考えをお答えください。
[1つ選択]

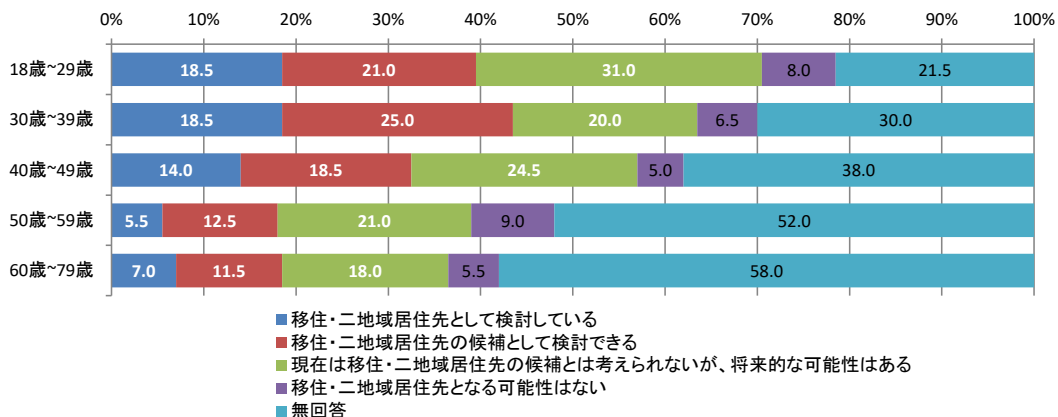
- ひたちなか市を将来的な「移住・二地域居住先として検討している」と 127 名（12.7%）が回答している。
- 年齢別では「18 歳～29 歳」, 「30 歳～39 歳」で 18.5%と最も多く、認知度別では、ひたちなか市を「詳しく知っている」と回答した方の割合が高い。

総数	1,000	100.0%
移住・二地域居住先として検討している	127	12.7%
移住・二地域居住先の候補として検討できる	177	17.7%
現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある	229	22.9%
移住・二地域居住先となる可能性はない	68	6.8%



【年齢別のひたちなか市への将来的な移住や二地域居住について】

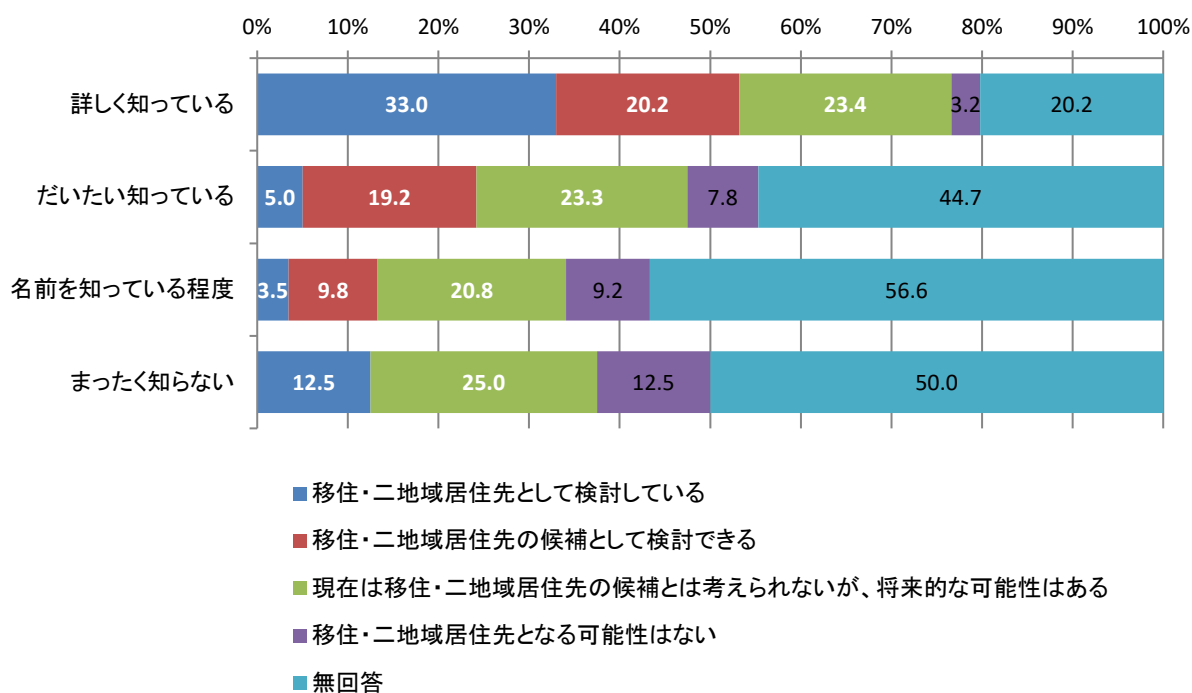
%	移住・二地域居住先として検討している	移住・二地域居住先の候補として検討できる	現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある	移住・二地域居住先となる可能性はない
総数	12.7%	17.7%	22.9%	6.8%
18歳～29歳	18.5%	21.0%	31.0%	8.0%
30歳～39歳	18.5%	25.0%	20.0%	6.5%
40歳～49歳	14.0%	18.5%	24.5%	5.0%
50歳～59歳	5.5%	12.5%	21.0%	9.0%
60歳～79歳	7.0%	11.5%	18.0%	5.5%



※無回答：移住や二地域居住を検討していない方

【認知度別のひたちなか市への将来的な移住や二地域居住について】

%	移住・二地域居住先として検討している	移住・二地域居住先の候補として検討できる	現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある	移住・二地域居住先となる可能性はない
総数	12.7%	17.7%	22.9%	6.8%
詳しく知っている	33.0%	20.2%	23.4%	3.2%
だいたい知っている	5.0%	19.2%	23.3%	7.8%
名前を知っている程度	3.5%	9.8%	20.8%	9.2%
まったく知らない	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%



問 15 問 14 のあなたの回答の理由をお聞かせください。[自由記入]

- ・ひたちなか市を将来的な「移住・二地域居住先として検討している」と回答した方の理由では、“自然が豊かだから”，“安心して暮らせる”等の意見が挙がっており，コロナ禍における郊外への移住の意向もみられた。
- ・ひたちなか市は将来的な「移住・二地域居住先となる可能性はない」と回答した方の理由では，“勤務先から遠い”や“不便”といった意見が見られた。また，“ゆかりがない”，“暮らすには退屈”等の意見も挙がっていた。

【問 14 で「移住・二地域居住先として検討している」を選択した方の主な理由】

- ・馴染みがあり，知人もいて，地価も手頃なので有力な候補
 - ・自然豊かさに，買い物も便利
 - ・自然環境が素晴らしい
 - ・地方移住への期待感が高まっており，関東近郊でよいと思えるのがひたちなか市
 - ・コロナ対策で田舎暮らしはいい
 - ・魚がおいしく，観光もできる
 - ・郊外の自然が豊かなところで暮らしたいから
 - ・地域性がいいと住んでいる知人ないし友人より伺っているから
 - ・東京に比べ生活費が抑えられ，生活に余裕を持たせる事が出来る。
 - ・生活に必要な施設が整っていて安心して暮らす事が出来る
- 等

【問 15 で「移住・二地域居住先となる可能性はない」を選択した方の主な理由】

- ・今後移住するとしたら，親や実子が住んでいる東京都
 - ・茨城に縁がない
 - ・車がないと不便であり医療機関や子供の学校が遠いから
 - ・勤務先から距離が有るから
 - ・知らない土地より慣れた地元に住みたい
 - ・興味がない
 - ・観光で訪れる分には楽しいけど，暮らすには退屈だと思う
 - ・とても良いところだけど実家が遠いので。ひたちなかは遊びに行くところ
 - ・不便
 - ・他に魅力的な場所があるから
- 等

問 16 あなたが移住や二地域居住先として検討している、または候補となりえると考える地域とその理由について教えてください。[自由記入]

- ・移住や二地域居住先として検討している、または候補となりえると考える地域について、「ひたちなか市」の回答が最も多く、「都心へのアクセス」や「自然が豊か」等が理由として挙がっている。
- ・その他の地域では、「沖縄」や「長野」、「水戸市」の回答が多くなっており、「東京へのアクセス」や「海などの自然環境」等のひたちなか市と同じ要因が挙がっている。

【回答結果上位 5 地域とその理由】

地域	回答数	主な理由
ひたちなか市	23	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい町、環境が良い町、子育てしやすい町 ・都心から一本でいける 地価が安く、広い家に住むことができる ・自然が多くてのんびり暮らせそう ・子育てがよさそうな環境 ・地域がいいと知人より伺っているから 等
沖縄	16	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かいので ・海が綺麗だから ・自然が豊か ・温暖な気候と自然があるから ・のんびりして住みやすそう 等
長野	11	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多くて都心に近いから ・空気が良いから ・好きだから ・生まれ故郷だから 等
茨城	9	<ul style="list-style-type: none"> ・都心から遠くなく自然が豊かだから ・鉄道で移動することを考えているため ・このアンケート調査を行ってみて、良さそうと思った ・割と近場で自然環境に恵まれているから 等
水戸市	8	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすそう ・海が近いし海産物が美味しいから ・中心地だから ・安定しているから 等

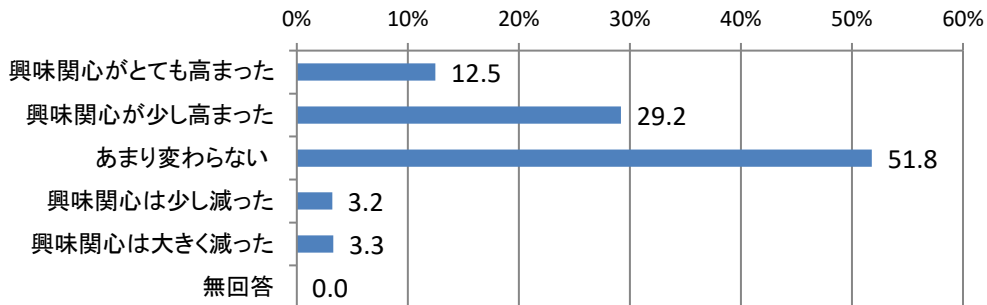
※地域について、回答内容に基づき、県と市町村は区別して集計、「沖縄」等の表記は県として集計

(6) その他の設問について

問 18 新型コロナウイルスの影響によって、茨城県等関東郊外(東京まで1時間半程度でアクセス可能)への移住・定住・二地域居住等への興味・関心は高まりましたか。[1つ選択]

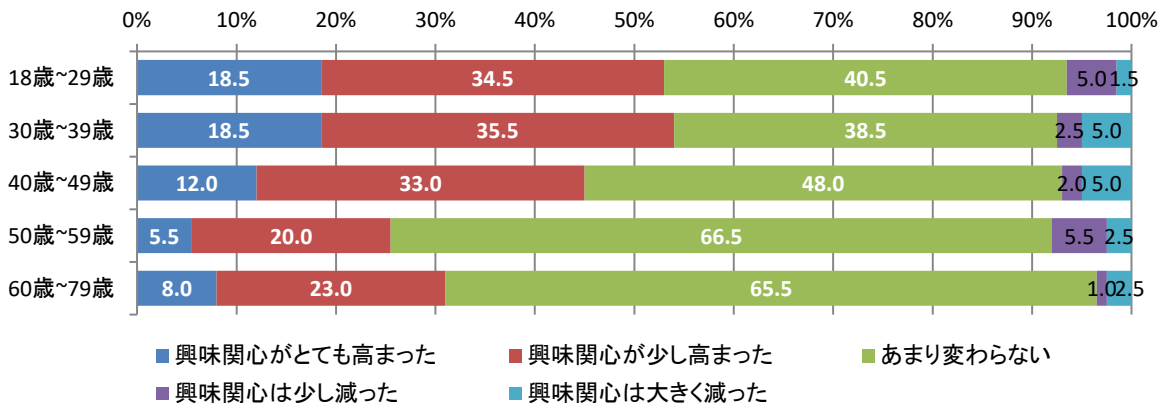
- ・移住・定住・二地域居住等への興味・関心について、「あまり変わらない」との回答が51.8%で最も多く、「興味関心が少し高まった」が29.2%で続いている。
- ・年齢別の回答では、「18歳～39歳」の若年層で「興味関心がとても高まった」との回答が多い傾向にある。

総数	1,000	100.0%
興味関心がとても高まった	125	12.5%
興味関心が少し高まった	292	29.2%
あまり変わらない	518	51.8%
興味関心は少し減った	32	3.2%
興味関心は大きく減った	33	3.3%



【年齢別の移住・定住・二地域居住等への興味・関心について】

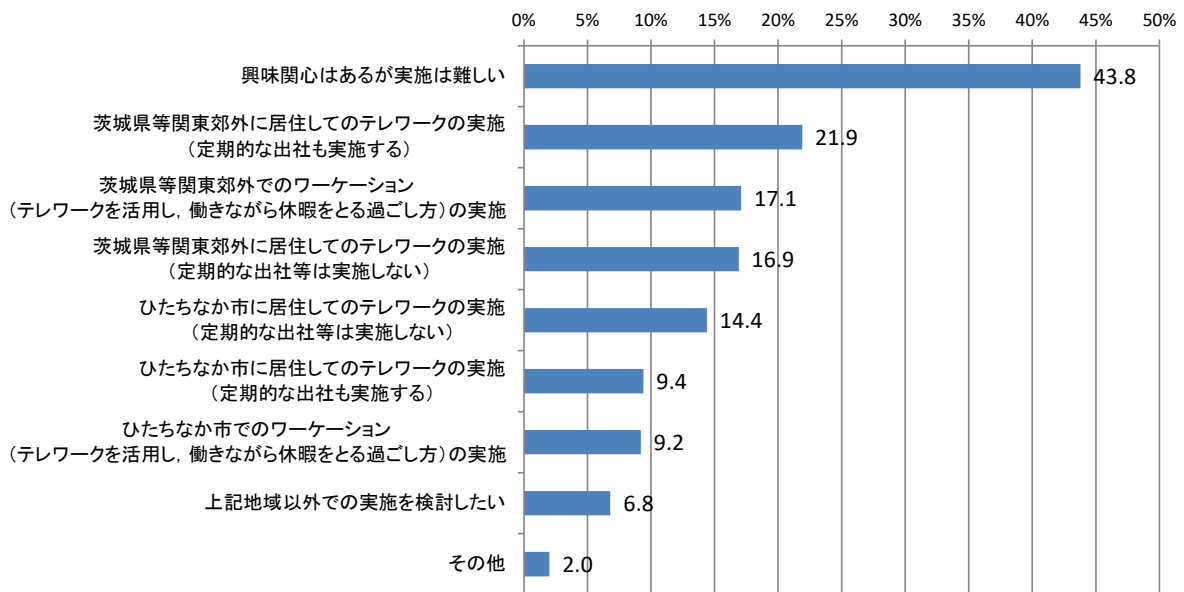
%	興味関心がとても高まった	興味関心が少し高まった	あまり変わらない	興味関心は少し減った	興味関心は大きく減った
総数	12.5%	29.2%	51.8%	3.2%	3.3%
18歳～29歳	18.5%	34.5%	40.5%	5.0%	1.5%
30歳～39歳	18.5%	35.5%	38.5%	2.5%	5.0%
40歳～49歳	12.0%	33.0%	48.0%	2.0%	5.0%
50歳～59歳	5.5%	20.0%	66.5%	5.5%	2.5%
60歳～79歳	8.0%	23.0%	65.5%	1.0%	2.5%



問 19 地方での働き方について、今後実際に検討していきたいものをお答えください。[あてはまるものすべて選択]

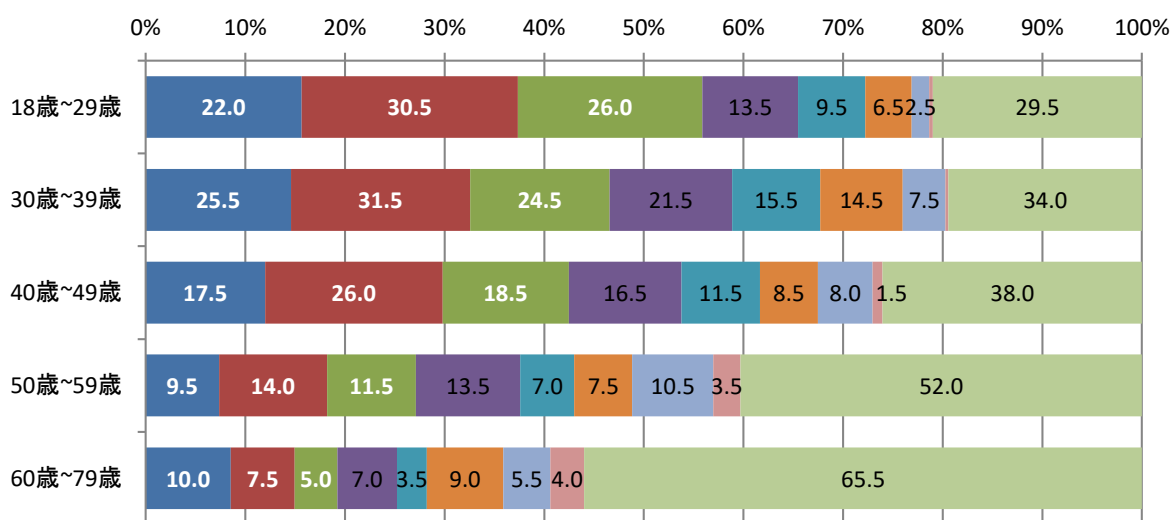
- 地方での働き方について、「興味関心はあるが実施は難しい」が 43.8%で最も選択されており、「茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施（定期的な出社も実施する）」が 21.9%で次点となっている。ひたちなか市に居住する場合は、定期的な出社等は実施しないテレワークが最も選択されている。
- 「その他」の回答では、「どれも関心がない」、「退職している」等の意見が見られた。

総数	1,000	100.0%
興味関心はあるが実施は難しい	438	43.8%
茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	219	21.9%
茨城県等関東郊外でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	171	17.1%
茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等は実施しない)	169	16.9%
ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等は実施しない)	144	14.4%
ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	94	9.4%
ひたちなか市でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	92	9.2%
上記地域以外での実施を検討したい	68	6.8%
その他	20	2.0%



【年齢別の地方での働き方について】

%	茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等を実施しない)	茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	茨城県等関東郊外でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等を実施しない)	ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	ひたちなか市でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	上記地域以外での実施を検討したい	その他	興味関心はあるが実施は難しい
総数	16.9%	21.9%	17.1%	14.4%	9.4%	9.2%	6.8%	2.0%	43.8%
18歳~29歳	22.0%	30.5%	26.0%	13.5%	9.5%	6.5%	2.5%	0.5%	29.5%
30歳~39歳	25.5%	31.5%	24.5%	21.5%	15.5%	14.5%	7.5%	0.5%	34.0%
40歳~49歳	17.5%	26.0%	18.5%	16.5%	11.5%	8.5%	8.0%	1.5%	38.0%
50歳~59歳	9.5%	14.0%	11.5%	13.5%	7.0%	7.5%	10.5%	3.5%	52.0%
60歳~79歳	10.0%	7.5%	5.0%	7.0%	3.5%	9.0%	5.5%	4.0%	65.5%

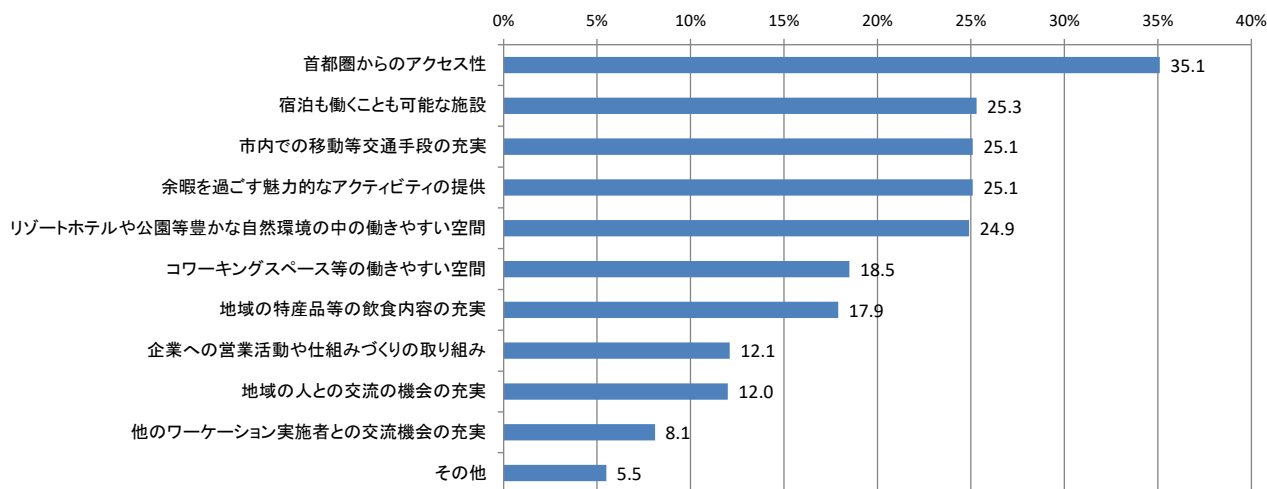


- 茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等は実施しない)
- 茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)
- 茨城県等関東郊外でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施
- ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等は実施しない)
- ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)
- ひたちなか市でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施
- 上記地域以外での実施を検討したい
- その他
- 興味関心はあるが実施は難しい

問 20 どのような要素があれば茨城県ひたちなか市でワーケーションを実施したいと考えますか。あてはまるものすべて選択]

- ・ひたちなか市でワーケーションに必要な要素について、「首都圏からのアクセス性」が 35.1%と最も多く回答されており、「宿泊も働くことも可能な施設」が 25.3%,「市内での移動等交通手段の充実」と「余暇を過ごす魅力的なアクティビティの提供」がそれぞれ 25.1%で続いている。

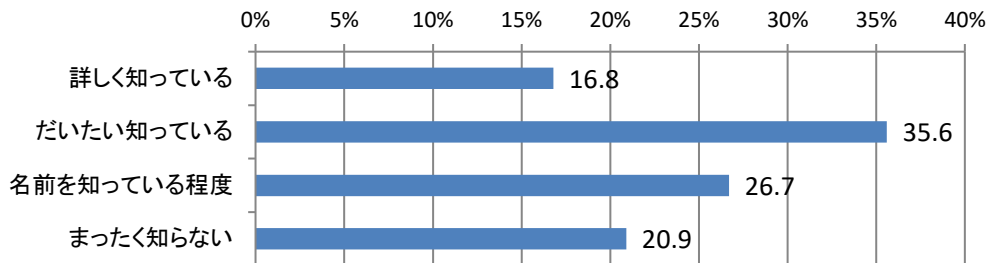
要素	総数	割合
首都圏からのアクセス性	351	35.1%
宿泊も働くことも可能な施設(仕事に適した客室や共用部を持つ宿泊施設等)	253	25.3%
市内での移動等交通手段の充実	251	25.1%
余暇を過ごす魅力的なアクティビティの提供	251	25.1%
リゾートホテルや公園等豊かな自然環境の中の働きやすい空間	249	24.9%
コワーキングスペース等の働きやすい空間	185	18.5%
地域の特産品等の飲食内容の充実	179	17.9%
企業への営業活動や仕組みづくりの取り組み	121	12.1%
地域の人との交流の機会の充実	120	12.0%
他のワーケーション実施者との交流機会の充実	81	8.1%
その他	55	5.5%



問 21 持続可能な開発目標（SDGs）を知っていますか。[1つ選択]

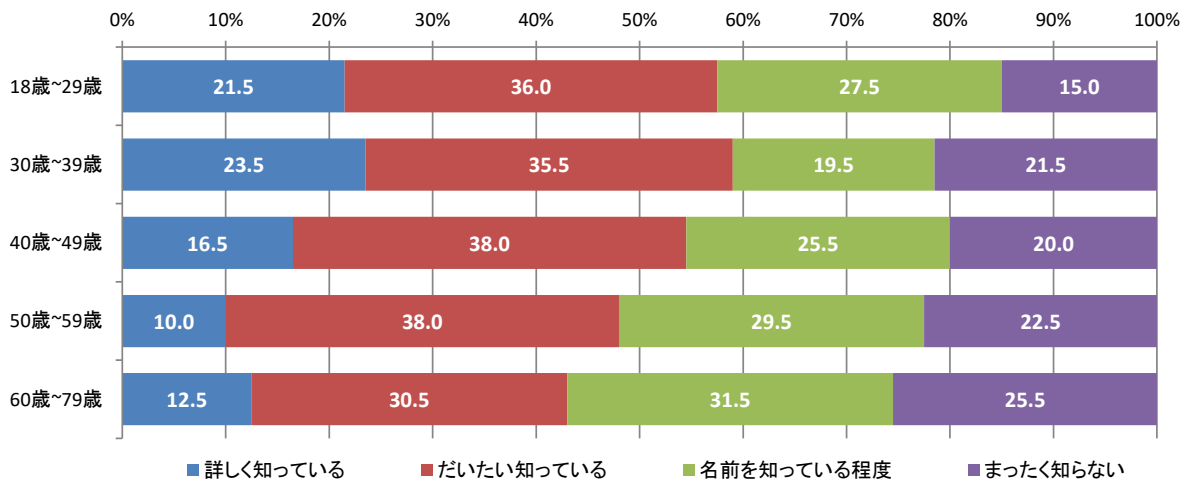
- 持続可能な開発目標（SDGs）について、「だいたい知っている」との回答が最も多く 35.6%、「名前を知っている程度」が 26.7%で続いている。
- 39 歳未満の若い世代で「詳しく知っている」との回答が多い傾向がある。
- 「東京都」居住者において「詳しく知っている」との回答が多い傾向がある。

総数	1,000	100.0%
詳しく知っている	168	16.8%
だいたい知っている	356	35.6%
名前を知っている程度	267	26.7%
まったく知らない	209	20.9%



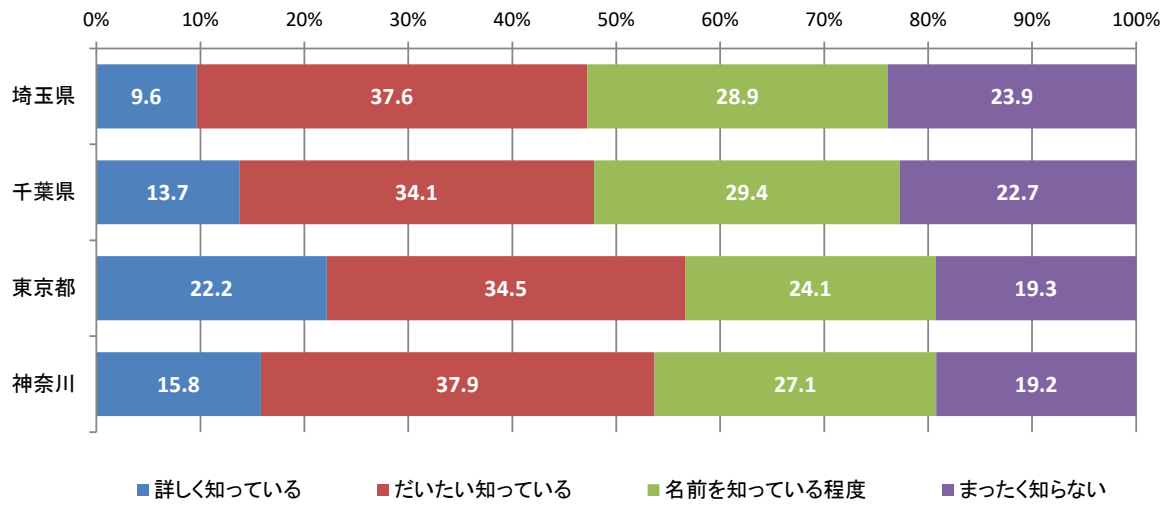
【年齢別の SDGs への認知度について】

%	詳しく知っ ている	だいたい 知っている	名前を知っ ている程度	まったく知 らない
総数	16.8%	35.6%	26.7%	20.9%
18歳~29歳	21.5%	36.0%	27.5%	15.0%
30歳~39歳	23.5%	35.5%	19.5%	21.5%
40歳~49歳	16.5%	38.0%	25.5%	20.0%
50歳~59歳	10.0%	38.0%	29.5%	22.5%
60歳~79歳	12.5%	30.5%	31.5%	25.5%



【居住地別のSDGsへの認知度について】

%	詳しく知っている	だいたい知っている	名前を知っている程度	まったく知らない
総数	16.8%	35.6%	26.7%	20.9%
埼玉県	9.6%	37.6%	28.9%	23.9%
千葉県	13.7%	34.1%	29.4%	22.7%
東京都	22.2%	34.5%	24.1%	19.3%
神奈川	15.8%	37.9%	27.1%	19.2%

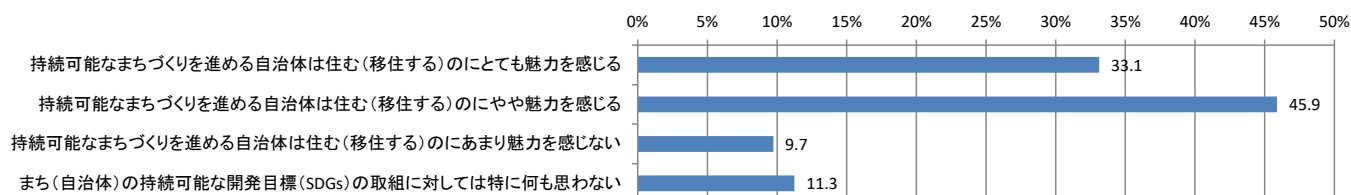


※問 21 で「4. まったく知らない」以外を選択された方へ

問 22 持続可能な開発目標 (SDGs) の取組を推進しているまち (自治体) をどう思いますか。
[1つ選択]

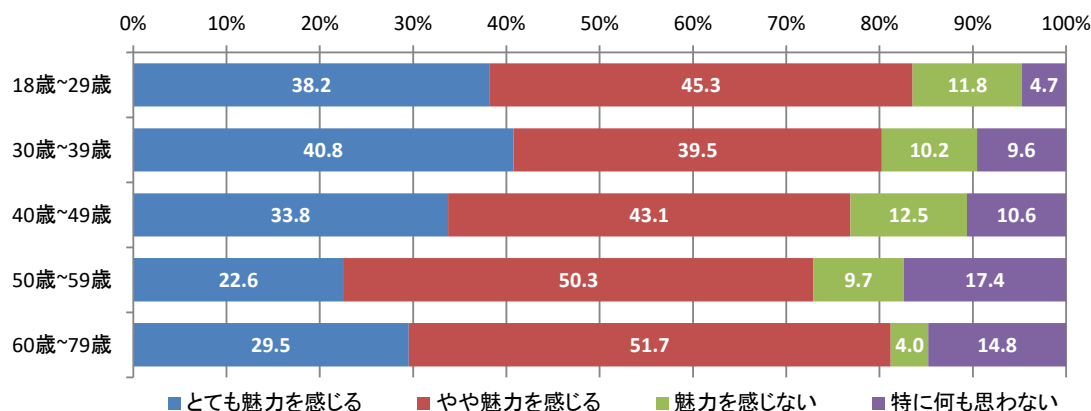
- 持続可能な開発目標 (SDGs) の取組を推進しているまち (自治体) について、「住む (移住する) のにやや魅力を感じる」が 45.9%で最も多く、「住む (移住する) のにとても魅力を感じる」が 33.1%で続いている。
- 「住む (移住する) のにとても魅力を感じる」との回答は「30 歳～39 歳」で 40.8%と最も高く、一方で 50 歳以上の年代では「特に何も思わない」との回答割合が多くなっている。
- 移住や二地域居住をしてみたいと考えている方は、SDGs に取り組む自治体に対して「とても魅力を感じる」との割合が 55.2%と高くなっている。

総数	791	100.0%
持続可能なまちづくりを進める自治体は住む(移住する)のにとても魅力を感じる	262	33.1%
持続可能なまちづくりを進める自治体は住む(移住する)のにやや魅力を感じる	363	45.9%
持続可能なまちづくりを進める自治体は住む(移住する)のにあまり魅力を感じない	77	9.7%
まち(自治体)の持続可能な開発目標(SDGs)の取組に対しては特に何も思わない	89	11.3%



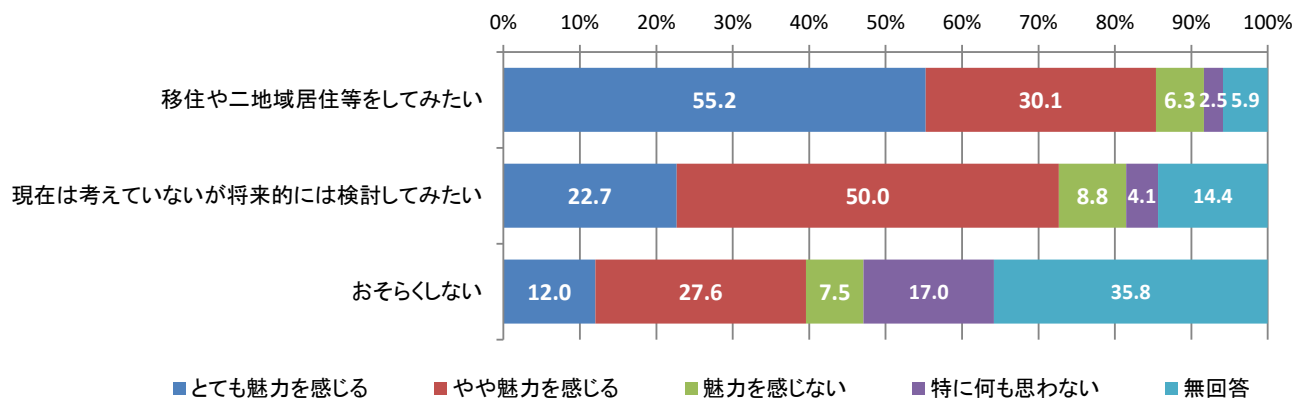
【年齢別の SDGs に取り組む自治体への居住 (移住) について】

%	とても魅力を感じる	やや魅力を感じる	魅力を感じない	特に何も思わない
総数	33.1%	45.9%	9.7%	11.3%
18歳～29歳	38.2%	45.3%	11.8%	4.7%
30歳～39歳	40.8%	39.5%	10.2%	9.6%
40歳～49歳	33.8%	43.1%	12.5%	10.6%
50歳～59歳	22.6%	50.3%	9.7%	17.4%
60歳～79歳	29.5%	51.7%	4.0%	14.8%



【移住意向別のSDGsに取り組む自治体への居住（移住）について】

%	とても魅力を感じる	やや魅力を感じる	魅力を感じない	特に何も思わない
総数	26.2%	36.3%	7.7%	8.9%
移住や二地域居住等をしてみたい	55.2%	30.1%	6.3%	2.5%
現在は考えていないが将来的には検討してみたい	22.7%	50.0%	8.8%	4.1%
おそろしくない	12.0%	27.6%	7.5%	17.0%



※無回答:SDGsをしらない方

IV 参考資料

1. ひたちなか市への定住, 交流に関するインターネットアンケート調査設問

0. スクリーニングの設問（2問）

狙い ・ 調査対象者の抽出

◆ 調査会社で把握する基礎項目 ◆

- 年齢
- 性別
- 結婚の有無
- 居住地
- 職業

Q1 問 0-1 あなたは茨城県ひたちなか市を知っていますか。

【1つ選択】 < 認知度 >

- 1. 詳しく知っている
- 2. だいたい知っている
- 3. 名前を知っている程度
- 4. まったく知らない

Q2 問 0-2 **知っている場合**あなたは茨城県ひたちなか市を何で知りましたか。

【複数選択】 < 認知のタッチポイント（媒体） >

- 1. ひたちなか市に住んでいる家族・友人・知人の話
- 2. ひたちなか市に住んでいる人の SNS・ブログなど
- 3. ひたちなか市の名所, レジャースポットなどのホームページ, SNS
- 4. テレビ
- 5. インターネットのニュース・記事
- 6. ポータルサイト・検索サイト
- 7. ひたちなか市のホームページ・SNS
- 8. 新聞記事・広告
- 9. 雑誌記事・広告
- 10. 電車や駅での広告
- 11. その他

Q3 問 0-3 あなたは直近 3 年間（2018 年～2020 年）にひたちなか市を訪問しましたか。

【1つ選択】

- 1. 訪問した
- 2. 訪問していない

⇒「1.訪問した」を選択した場合, 次の頁の質問に移行

⇒「2.訪問していない」を選択した場合, 調査終了

1. あなた自身について（2問）

Q4 問1 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。

【1つ選択】

1. 単身（自分だけの一人暮らし）
2. 親
3. 配偶者
4. 配偶者と子
5. 配偶者と親（配偶者の親を含む）
6. 配偶者と子と親（配偶者の親を含む）
7. 親と兄弟
8. その他（ ）

Q5 問2 同居家族に次の方はいますか。あてはまるものを全てお答えください。

【複数選択】

1. 未就学児
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生以上の学生
5. 65～74歳の方
6. 75歳以上の方
7. あてはまるものはいない

2. 来訪経験・まちのイメージ・理解度についての設問の方向性（8問）

狙い

- ・満足度・理解度の現状の把握（セグメント毎の違い等）
- ・市内部の意識との比較（ギャップの有無の把握）

Q6 問3 あなたは直近3年間（2018年～2020年）で何度ひたちなか市を訪問しましたか。

【1つ選択】 <来訪頻度>

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4～5回
5. 6～9回
6. 10回以上

Q7 問4 直近3年間（2018年～2020年）でひたちなか市を複数回訪問された方は、訪問した最も多い目的をお答えください。

【1つ選択】 <来訪目的>

1. 観光
2. ビジネス
3. 家族・知人の訪問
4. その他（ ）

Q8 問5 直近のひたちなか市を訪問した際の満足度をお答えください。

【1つ選択】 < 来訪満足度 >

- | |
|--|
| 1. とても満足
2. やや満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. とても不満 |
|--|

Q9 問6 問5で回答した満足度の理由をお答えください。

【必須：自由記入】

--

Q10 問7 あなたはまたひたちなか市を訪れたいですか。

【1つ選択】 < 再来訪意思 >

- | |
|--|
| 1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまりそう思わない 5. まったく思わない |
|--|

Q11 問8 どのような取組や地域資源があればひたちなか市をもっと訪れたいと思いますか。

【必須：自由記入】

--

Q12 問9 あなたはひたちなか市について、どの程度知っていますか。

【各問1つ選択】<理解度>

項目	詳しく知っている	ある程度は知っている	知らない
1. 東京からのアクセス ・東京まで1時間半程度でアクセスできる。 (電車(東京駅～勝田駅)90分, 高速道路110分)	3	2	1
2. 所在地 ・茨城県の中央に位置し, 県庁所在地である水戸市まで, 電車で1駅(6分), 自動車は20分程度でアクセスできる。	3	2	1
3. 人口 ・水戸市, つくば市, 日立市に次いで, 茨城県で4番目の人口規模である。	3	2	1
4. 就業・雇用 ・日立製作所の企業城下町として発展した歴史があり, 市内には日立製作所と関連企業における雇用が多い。	3	2	1
5. 地価や住宅価格等 ・基準地価は, 38,000円/㎡程度で練馬区の1/12程度である。	3	2	1
6. 買い物など ・大型ショッピングモールや映画館等が立地している。	3	2	1
7. 市内の交通手段 ・ひたちなか海浜鉄道湊線が市内を運行している。自家用車での移動が多い。	3	2	1
8. 自然環境・レジャー ・ひたち海浜公園や海水浴場, おさかな市場など自然環境やレジャーが充実している。	3	2	1
9. 特産品 ・干しいもの生産が盛んであり, 港町ならではの新鮮な海の幸も豊富に揃う。	3	2	1

3. 移住・定住等に関する設問案の方向性（8問）

狙い

- ・移住定住に関する首都圏層の意識の現状の把握
- ・ひたちなか市への移住、二地域居住に関心のあるターゲット層の抽出

Q13 問 10 あなたは、現在お住まいの地域の住み心地をどのように感じていますか。

【1つ選択】

1. とても住みやすい
2. どちらかと言えば住みやすい
3. どちらかと言えば住みにくい
4. とても住みにくい

【問 10 で 1. 2 を選択された方】

Q14 問 11-1 問 10 で「1. とても住みやすい」、 「2. どちらかと言えば住みやすい」を選択された理由をお答えください。【あてはまるものすべてに○】

1. 通勤・通学先が近くにあるから
2. 自分や家族の通勤・通学に便利だから
3. 親・子・親族等との同居・近居のため
4. 地価や住宅価格等の条件が良いから
5. 日常の買い物等が便利だから
6. 道路事情や交通の便が良いから
7. 自然が多く環境が良いから
8. 教育や文化的環境が充実しているから
9. 子育てしやすい環境が整っているから
10. 医療環境が整っているから
11. 福祉サービス・施設が充実しているから
12. その他 ()

【問 10 で 3. 4 を選択された方】

Q15 問 11-2 問 10 で「3. どちらかと言えば住みにくい」、 「4. とても住みにくい」を選択された理由をお答えください。【あてはまるものすべてに○】

1. 通勤・通学先が近くにないから
2. 自分や家族の通勤・通学に不便だから
3. 親・子・親族等が近くにいないから
4. 地価や住宅価格等の条件が良くないから
5. 日常の買い物等が便利でないから
6. 道路事情や交通の便が良くないから
7. 自然が少なく環境が良くないから
8. 教育や文化的環境が十分でないから
9. 子育てしやすい環境が十分でないから
10. 医療環境が十分でないから
11. 福祉サービス・施設が十分でないから
12. その他 ()

Q16 問 12 今後、移住や二地域居住等をしてみたいと思いますか。

※二地域居住…都市部と地方を行き来し、生活の拠点を2つもつ暮らし方

例) 平日は仕事の拠点がある都市部で生活し、週末や休日になると田舎のもう1つの拠点で過ごすなど

【1つ選択】 <問 15 以降の対象を抽出>

1. 移住や二地域居住等をしてみたい
2. 現在は考えていないが将来的には検討してみたい
3. おそらくしない

【問 12 で 1. 2 を選択された方】

Q17 問 13 あなたが今後移住・二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件について3つお答えください。

【1つ選択】 <ニーズの把握>

1. 仕事や学校が近くにある
2. 現在の勤務地や学校への通勤・通学が可能
3. 親・子・親族等との同居・近居
4. 地価や住宅価格等の条件が良い
5. 日常の買い物が便利
6. 道路事情や交通の便が良い
7. 自然が多く環境が良い
8. 教育や文化的環境が充実している
9. 子育てしやすい環境が整っている
10. 医療環境が整っている
11. 福祉サービス・施設が充実している
12. その他 ()

【問 12 で 1. 2 を選択された方】

Q18 問 14 ひたちなか市への将来的な移住や二地域居住についてあなたのお考えをお答えください。

【1つ選択】 <現状の把握>

1. 移住・二地域居住先として検討している
2. 移住・二地域居住先の候補として検討できる
3. 現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある
4. 移住・二地域居住先となる可能性はない

Q19 問 15 問 15 のあなたの回答の理由をお聞かせください。

【自由記入】 <要因の把握>

Q20 問 16 あなたが移住や二地域居住先として検討している、または候補となりえると考える地域とその理由について教えてください。

①候補となりえると考える地域（自治体名や地域の名前）【自由記入】

②理由【自由記入】

Q21 問 17 どのような取組や支援、情報があればひたちなか市に移住、または二地域居住したいと思いますか。

【自由記入】

--

4. アフターコロナにおける移住・定住等その他の設問

狙い

- ・新型コロナウイルスの影響による関東郊外への移住ニーズの確認
- ・ワーケーションやテレワーク等を希望するターゲット層の確認

Q22 問 18 新型コロナウイルスの影響によって、茨城県等関東郊外(東京まで 1 時間半程度でアクセス可能)への移住・定住・二地域居住等への興味・関心は高まりましたか。

【1つ選択】

1. 興味関心がとても高まった
2. 興味関心が少し高まった
3. あまり変わらない
4. 興味関心は少し減った
5. 興味関心は大きく減った

Q23 問 19 地方での働き方について、今後実際に検討していきたいものをお答えください。

【あてはまるものすべてに○】

1. 茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施（定期的な出社等を実施しない）
2. 茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施（定期的な出社も実施する）
3. 茨城県等関東郊外でのワーケーション（テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方）の実施
4. ひたちなか市に居住してのテレワークの実施（定期的な出社等を実施しない）
5. ひたちなか市に居住してのテレワークの実施（定期的な出社も実施する）
6. ひたちなか市でのワーケーション（テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方）の実施
7. 上記地域以外での実施を検討したい
8. 興味関心はあるが実施は難しい

Q24 問 20 どのような要素があれば茨城県ひたちなか市でワーケーションを実施したいと考えますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. コワーキングスペース等の働きやすい空間
2. リゾートホテルや公園等豊かな自然環境の中の働きやすい空間
3. 首都圏からのアクセス性
4. 市内での移動等交通手段の充実
5. 宿泊も働くことも可能な施設（仕事に適した客室や共用部を持つ宿泊施設等）
6. 地域の特産品等の飲食内容の充実
7. 余暇を過ごす魅力的なアクティビティの提供
8. 地域の人との交流の機会の充実
9. 他のワーケーション実施者との交流機会の充実
10. 企業への営業活動や仕組みづくりの取り組み

Q25 問 21 持続可能な開発目標（SDGs）を知っていますか。

【1つ選択】

1. 詳しく知っている
2. だいたい知っている
3. 名前を知っている程度
4. まったく知らない

【問 21 で 1. 2. 3 を選択された方】

Q26 問 22 持続可能な開発目標（SDGs）の取組を推進しているまち（自治体）をどう思いますか。

【1つ選択】

1. 持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにとても魅力を感じる。
2. 持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにやや魅力を感じる。
3. 持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにあまり魅力を感じない。
4. まち（自治体）の持続可能な開発目標（SDGs）の取組に対しては特に何も思わない。